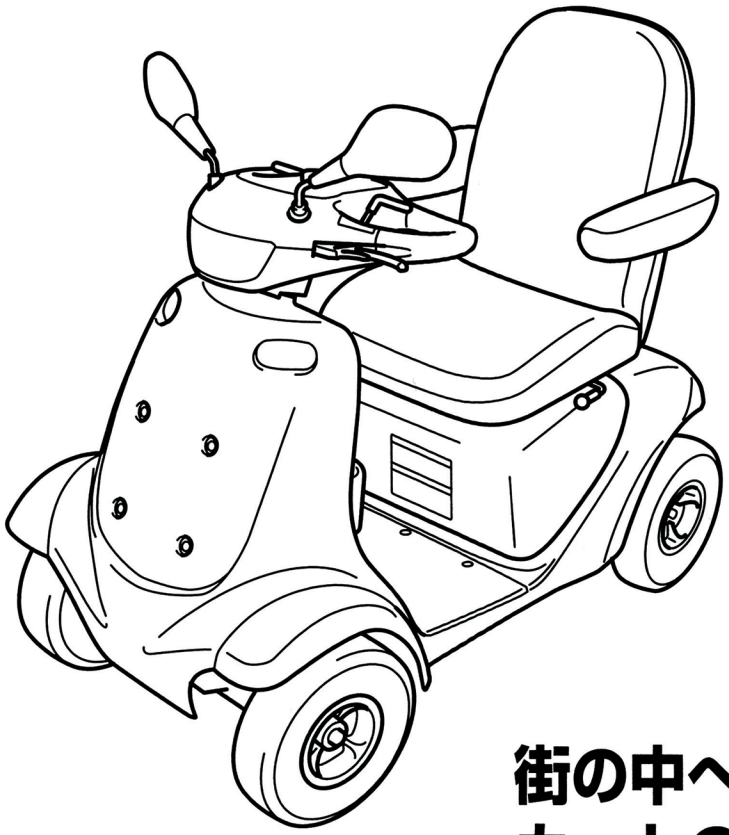
クボタ電動カート ラクロード

取扱説明書

EW40



街の中へ・光の中へ
カートのある
快適な暮らし

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

はじめに

このたびはラクロードをお買い上げいただき、ありがとうございます。

本書は、ラクロードをいつまでも安全・快適にお使いいただくための正しい取り扱い方や、簡単な保守・点検および異常が生じた場合の対処方法について記載してあります。
ご使用にあたっての重要な内容も記載してありますので、**ご使用前に必ずお読みください。**

●「安全にお使いいただくために、これだけは守ってください。」
「 ⚠危険 」「 ⚠警告 」「 ⚠注意 」は特に重要な事項です。
必ず読んで遵守してください。これらを守らないと事故につながったり、ケガをしたり、ラクロードが損傷するなどの恐れがあります。

●本書の中で使用されている記号の説明は、以下のようになっています。

⚠危険	その指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるもの。
⚠警告	その指示に従わなかった場合、死亡または重傷を負う恐れのあるもの。
⚠注意	その指示に従わなかった場合、軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する恐れのあるもの。 ただし、状況によっては重大な結果につながる場合がある。
☞チェックポイント	操作・保守点検をするときの一般的な注意事項で、製品自体のみの損害（自損）を防ぐための注意事項も含む。
	絶対に行わないでください。
	必ず指示に従い、実施してください。

※上記表中の損害の程度の意味は、下記のとおりです。

重傷	失明・ケガ・火傷（高温または低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症がのこるもの、および治療に入院や長期の通院を要するもの。
軽傷	治療に入院や長期の通院を要さないもの。 （上記重傷以外）
物的損害	家屋・家財および家畜やペットなどにかかわる損害。ただしラクロード自体の損害（自損）は含まれない。

必ずお読みください

●ご使用前に、この取扱説明書をよく読んで理解し、安全運転に心がけてください。

●この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に大切に保管しておいてください。

●ラクロードを他人に貸したり、譲り渡す場合は、この取扱説明書を必ず添えてお渡しいただき、ご使用前にお読みいただくようお伝えください。

●運転に慣れるまで、広い場所で十分練習をしてください。（7ページ）

●ご使用前には点検を行ってください。（40ページ）

●初めて道路に出る時や、狭い屋内などでご使用になるときは、介添者の方と一緒に安全確認して走行してください。

●よくわからないことや不都合がございましたら、お早めにお買い上げの販売店、もしくは弊社へお気軽にご相談ください。

●ラクロードは「電動車いす」です。遊具としての使用など、車いす以外の用途では使用しないでください。尚、改造は、故障や重大な事故の原因となりますので、絶対にしないでください。
改造に起因する損害は保証の対象外になります。

●保証書はよくお読みいただき、大切に保管してください。

（品質改良、仕様変更などにより、この取扱説明書の記載内容が、お手元の製品と一部異なることがございます。あらかじめご承知おきください。）

L8020-6111-1(カラー)

もくじ

1 本体各部の名称もくじ 5

2 安全にお使いいただくために、これだけは守ってください 7

運転に慣れるまで、広い場所で十分練習をしてください。 …… 7
歩行者としての交通ルールやマナーを守ってください。 …… 7
心も体も健全な状態で使用して下さい。 …… 7
１人乗りです。正しい姿勢で安全に走行してください。 …… 7
屋内では、他の人に迷惑をかけないよう「低速」で走行してください。 …… 8
混雑する場所や危険な箇所は避けて走行して下さい。 …… 8
踏切や横断歩道では、一旦停止してください。 …… 8
急な坂道や傾斜地の走行は避けてください。 …… 9
走行中に携帯電話や無線通信はしないでください。 …… 9
大きな段差・溝の乗り越えは避けて走行してください。 …… 9
悪路走行（ぬかるみ・水たまり・凸凹道・雪道・凍結路・砂道・砂利路など）は避けてください。 …… 10
悪天候時の走行（雨降り・降雪時・濃霧・強風時など）は避けてください。 …… 10
夜間での走行は避けてください。 …… 10
けん引や重い荷物の運搬には使わないでください。 …… 10
坂道でのクラッチ操作は避けてください。 …… 11
階段やエスカレーターでの使用は避けてください。 …… 11
駐車ブレーキは駐車時、クラッチが「手押し」状態の時に使用してください。 …… 11
衝突停止は危険ですから避けてください。 …… 11
走行時は充電コードを収納してください。 …… 11
運転に適した服装で走行してください。 …… 11
日常点検を行なってください。 …… 12
蛇行運転、急旋回は避けてください。 …… 12

3 警告ラベルの位置 13

4 安心・便利機能 15

5 警告機能 16

6 液晶モニター（メーター）の表示内容 21

7 取り扱い方法 24

操作パネル …… 24
●電源スイッチ●前後進切替えスイッチ●速度切替えスイッチ●アクセルレバー●ブレーキ
●駐車ブレーキ●ホーンスイッチ●ヘッドランプスイッチ●ターンシグナルスイッチ
●自動方向指示設定スイッチ●ハザードスイッチ●走行距離リセットボタン●バックミラー
シート …… 28
リヤランプ …… 28
クラッチレバー …… 29
タイヤ …… 29
充電コード …… 30
アクセサリー電源 …… 30

8 運転のしかた 31

乗車する前に …… 31
走行する …… 31
停止する …… 33
緊急停止する …… 33
駐車ブレーキ操作する時 …… 34
降車する …… 34

9 充電のしかた 35

充電の手順 …… 35

10 保守のしかた 38

本体の手入れのしかた …… 38
保管のしかた …… 39

11 点検要領 40

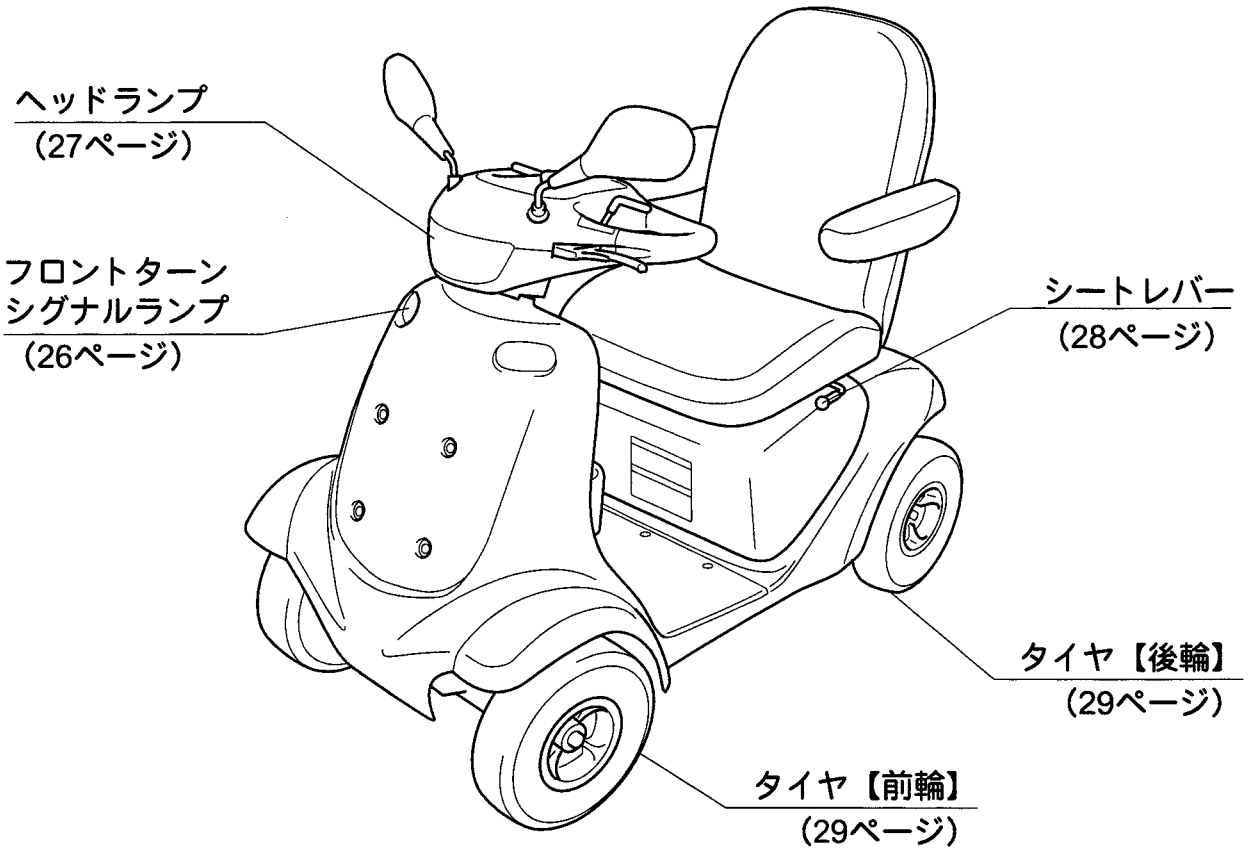
日常点検 …… 40
定期点検 …… 41
定期点検記録簿 …… 42

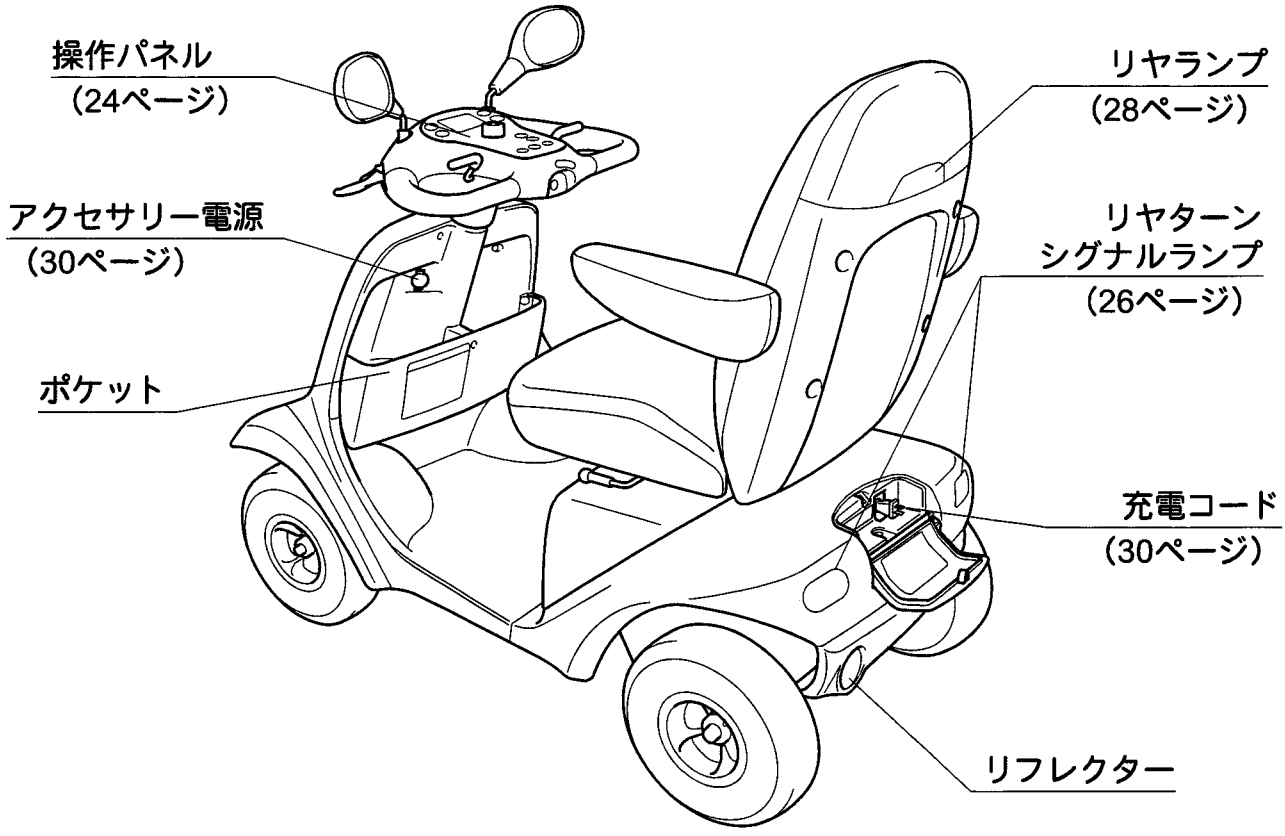
12 諸元表 43

外観図 …… 43
主要諸元 …… 44

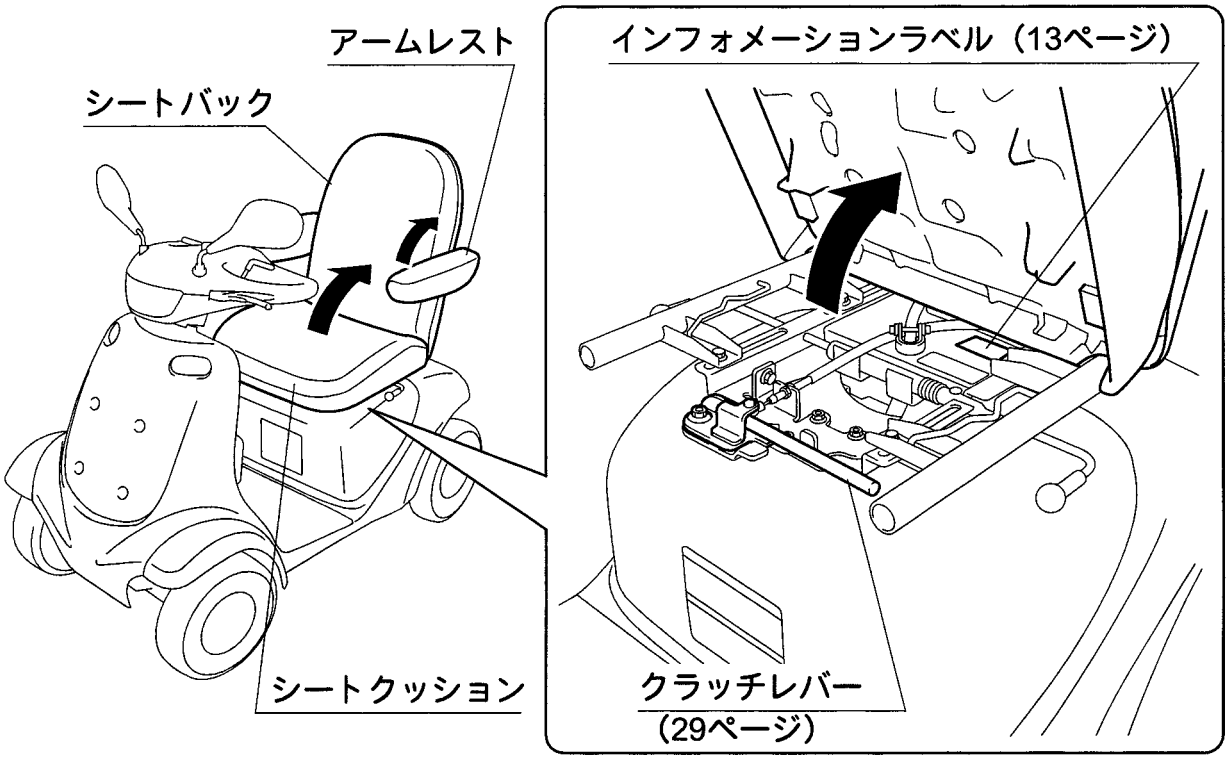
13 故障かな？と思ったときは 45

1 本体各部の名称もくじ

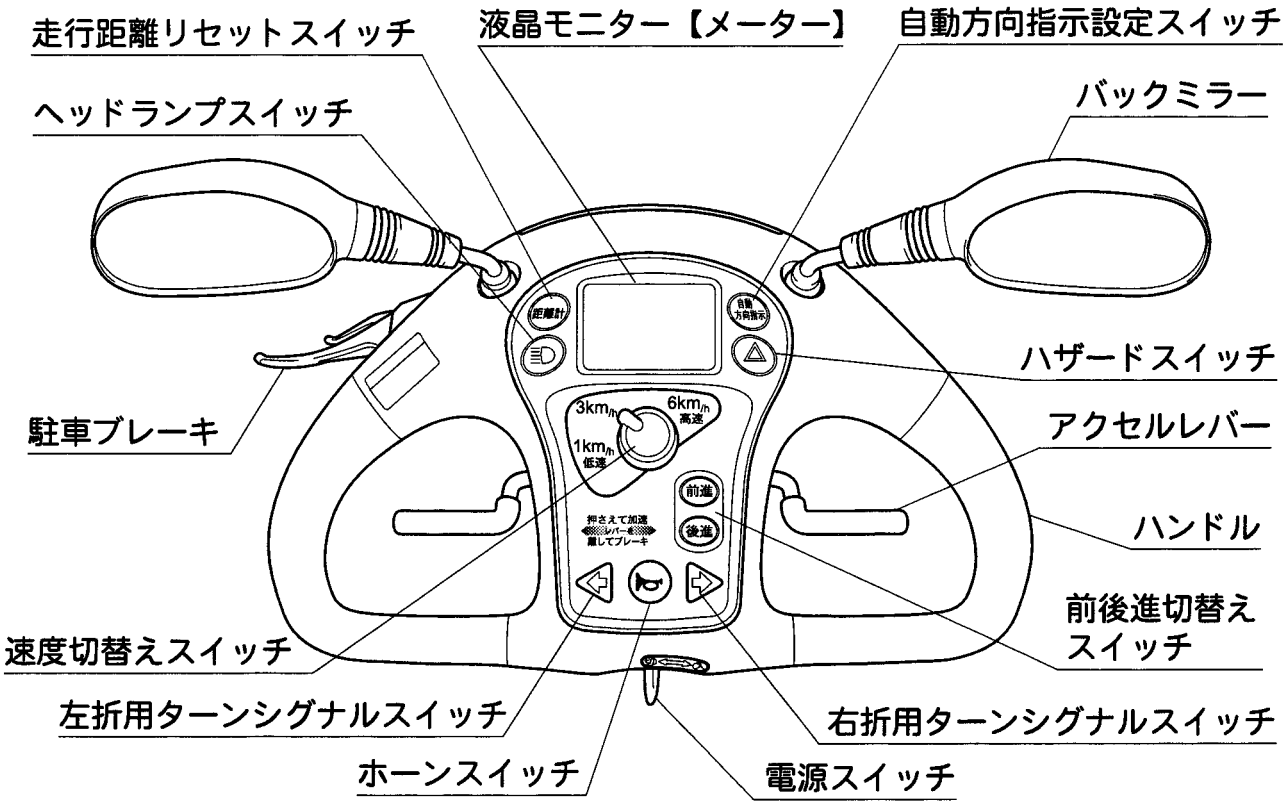




シート（28ページ）



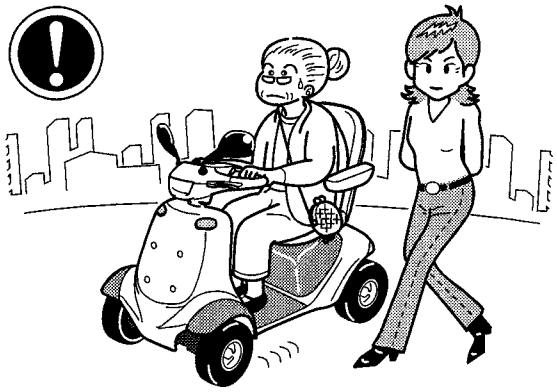
操作パネル（24ページ）



2 安全にお使いいただくために、これだけは守ってください

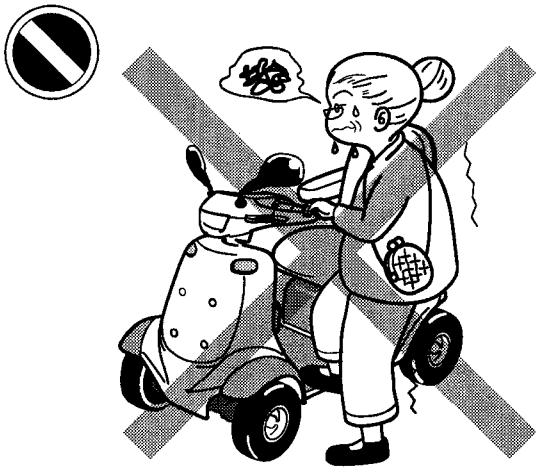
●運転になれるまで、広い場所で低速から十分練習をしてください。

- 公園や広場などの安全な場所で、十分に練習をして、低速から運転操作になれてください。
- 初めて道路に出る時や、狭い屋内などでご使用になるときは、**介添者の方と一緒**に安全を確認して走行してください。



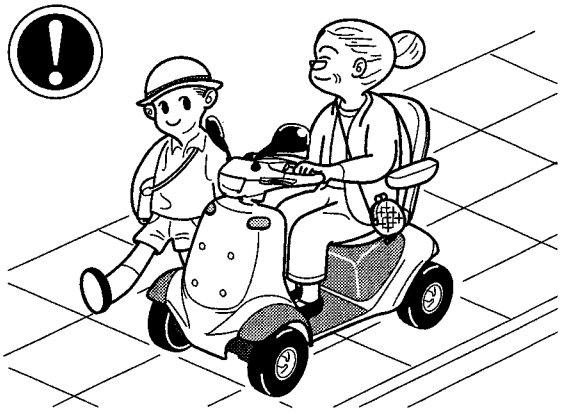
●心も体も健全な状態で使用してください。

- 極度に疲れたときや、熱が高いなど体が不調の時は、安全のため運転をしないでください。
- 飲酒したときは、動作や判断が遅くなり危険ですので、運転をしないでください。



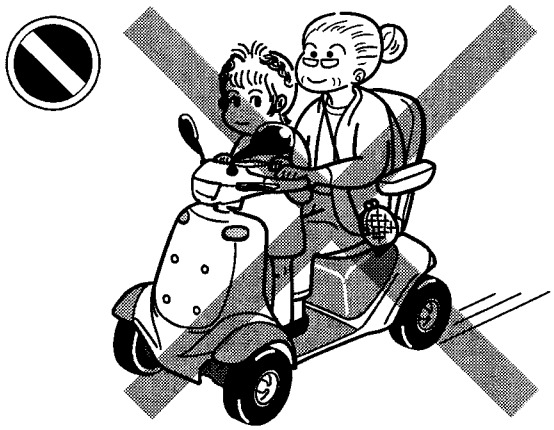
●歩行者としての交通ルールやマナーを守ってください。

- ラクロードは、道路交通法上「身体障害者用車いす」のため、歩行者として扱われます。歩行者としての交通ルールを守ってください。
- 歩道と車道の区別のある道路では、必ず歩道を走行してください。
- 歩道のない道路では、右側通行をしてください。
- 道路の横断は、横断歩道を渡ってください。
- 歩道のない道路の斜め横断は、時間がかかり危険です。道路に直角に横断してください。



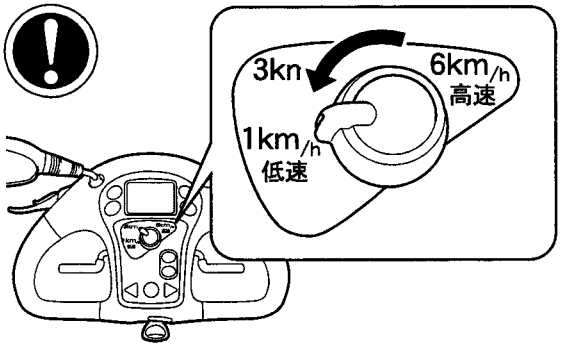
●１人乗りです。正しい姿勢で安全に走行してください。

- ラクロードは１人乗りです。お子さまを同乗させるなどの２人乗りは、絶対にしないでください。
- シートを取り外した状態では、絶対に走行しないでください。
- 急旋回やジグザク運転はしないでください。
- 走行中に足や体を車体からはみ出さないようにしてください。
- シートに深く腰をかけてから、電源スイッチを「入」にして走行してください。
- お子さまが使用する場合は**介添者が同行**してください。



●屋内では、他の人に迷惑をかけないよう「低速」で走行してください。

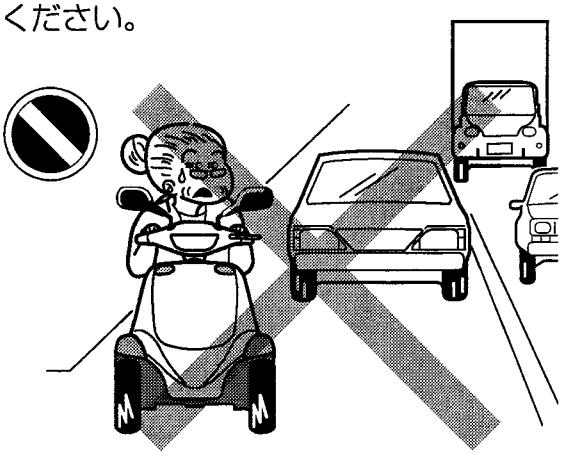
速度切替スイッチを「低速」位置にして走行してください。



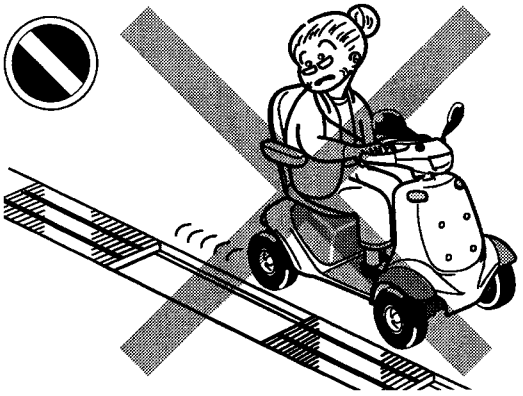
●混雑する場所や危険な箇所は避けて走行してください。

歩道のない交通量の多い道路では走行はしないでください。

道幅の広い横断歩道の単独走行は避けてください。



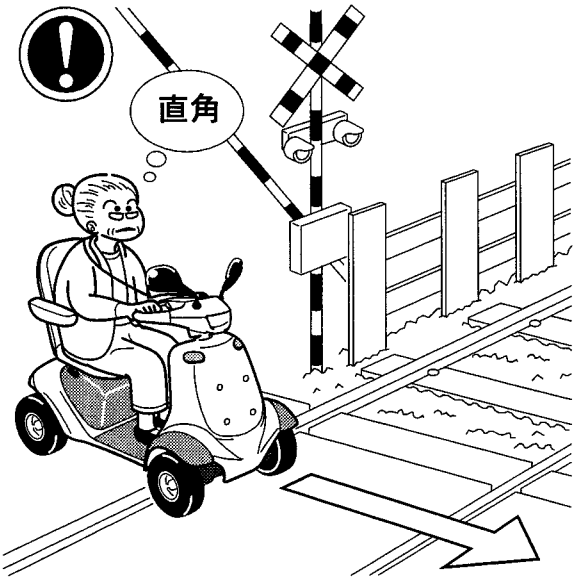
転倒防止柵のない池・川の近くや道路の路肩付近、蓋のない側溝付近の単独走行はしないでください。



●踏切や横断歩道では、一旦停止してください。

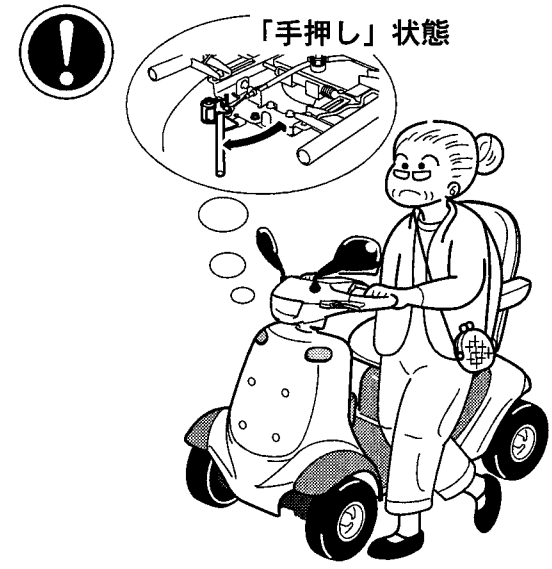
やむを得ず踏切や歩道を横断する場合は、**介添者に同行**していただいてください。

踏切や歩道を横断する場合は、手前で一旦停止し、左右の安全を確かめ、溝（線路）に車輪がはまらないよう、線路に対して直角に横断してください。



万一、踏切や歩道内で立ち往生した場合は、シート下のクラッチを「手押し」状態にし、手で押して脱出してください。
（29ページ参照）

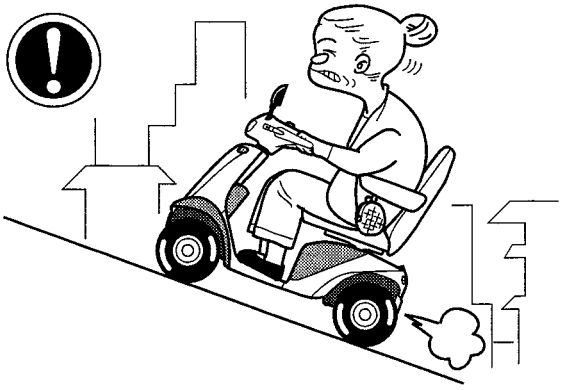
電車や自動車が近づくなど危険な場所は、身の安全を優先し、安全な場所へただちに避難してください。



●急な坂道や傾斜地の走行は避けてください。

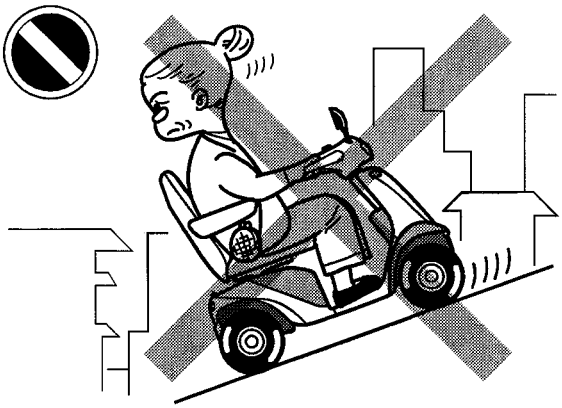
急な坂道の走行は、転倒の恐れがありますので避けてください。

坂道は斜め走行せず、まっすぐに前進で上り下りしてください。

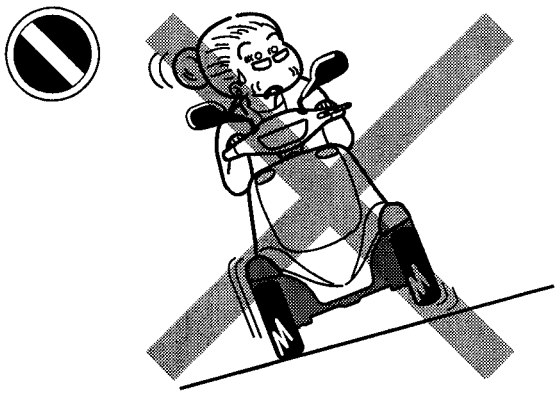


坂道での後進は転倒する恐れがありますので、絶対にしないでください。

（下り坂は必ず前進で、速度調節ダイヤルを「低速」に合わせ、慎重に走行してください。）



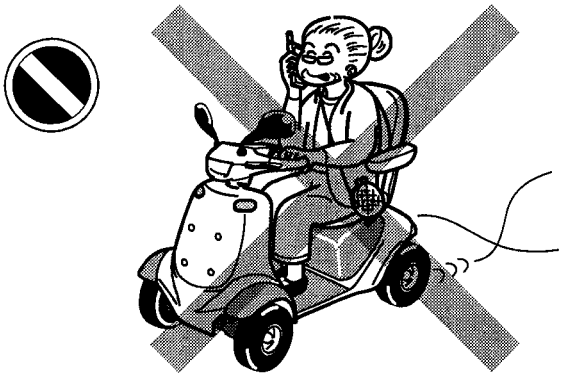
5°以上の急な傾斜地は、横転の恐れがありますので、走行しないでください。



●走行中に携帯電話や無線通信はしないでください。

走行中の携帯電話の使用は、注意力が散漫になりとても危険です。これらの機器の走行中の使用はしないでください。

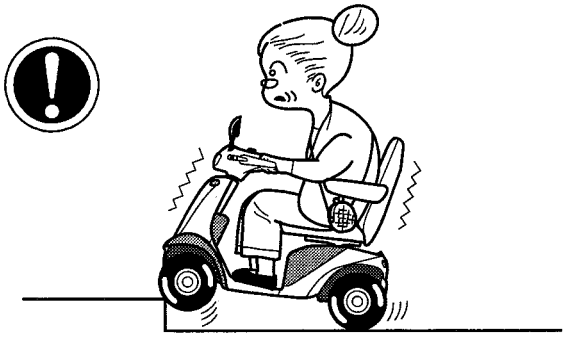
（事故防止のため安全な場所にラクロードを止め、電源スイッチからキーを抜いてご使用ください。）



●大きな段差・溝の乗越えは避けて走行してください。

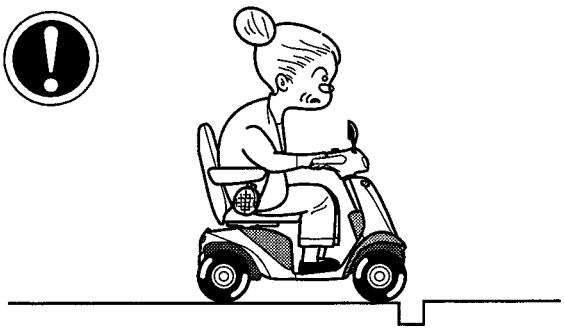
乗越えできる段差は10cmまでがめやすです。

段差に対して直角方向に乗越え、上り坂は特に避けてください。



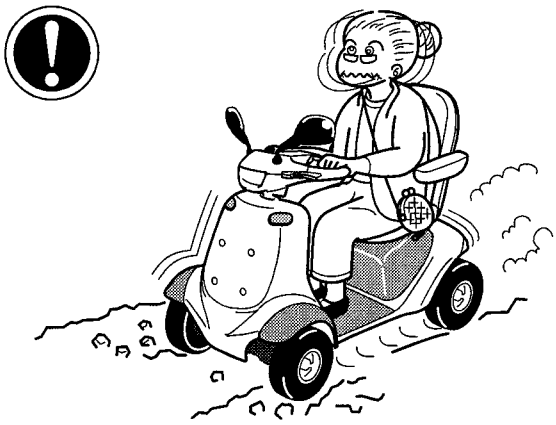
乗越えできる溝の幅は15cmまでがめやすです。

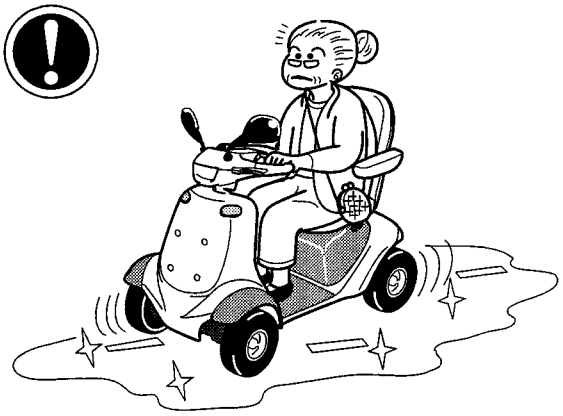
溝に対して直角方向に乗越え、上り坂は特に避けてください。



●悪路走行（ぬかるみ・水たまり・凸凹道・雪道・凍結路・砂道・砂利路など）は避けてください。

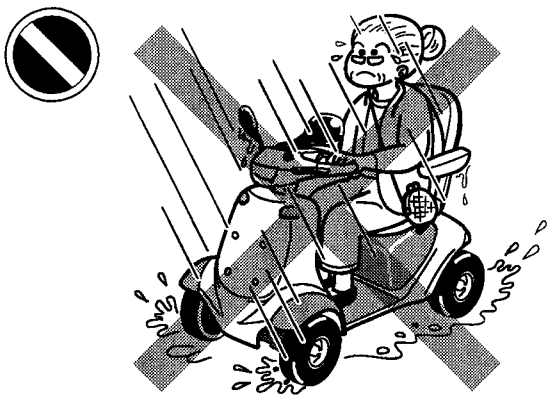
危険ですので単独走行は絶対にしないでください。やむを得ず走行するときは、必ず**介添者に同行**していただいてください。





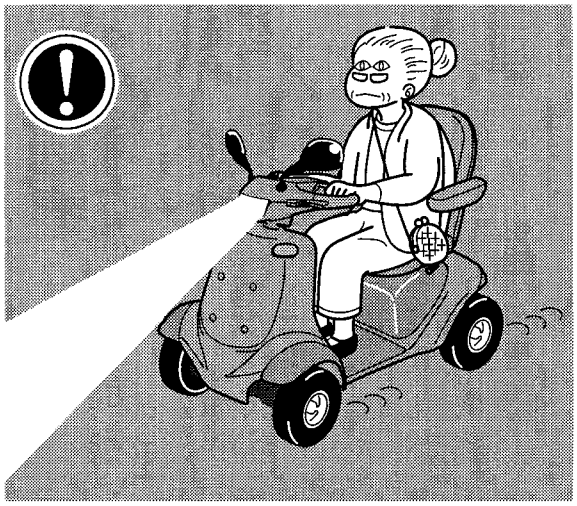
●悪天候時の走行（雨降り・降雪時・濃霧・強風時など）は避けてください。

危険ですので単独走行は絶対にしないでください。やむを得ず走行するときは、必ず**介添者に同行**していただいてください。



●夜間での走行は避けてください。

危険ですので単独走行は絶対にしないでください。やむを得ず夜間に使用する場合は、**介添者に同行**していただきヘッドランプを点灯したうえ安全を確保してください。



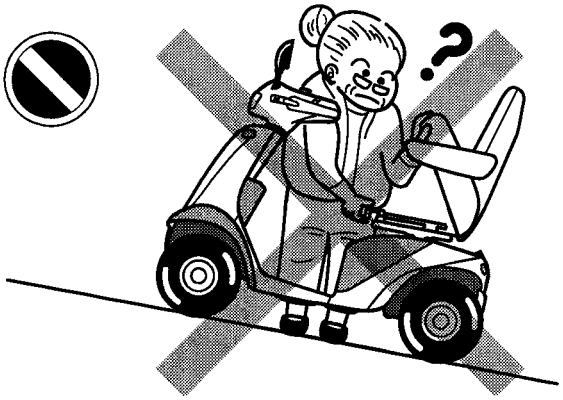
●けん引や重い荷物の運搬には使わないでください。

一般道路での荷物のけん引や運搬は違法です。絶対にしないでください。

ラクロードの使用者最大体重は、運転者と手荷物を合わせて100kgまでです。

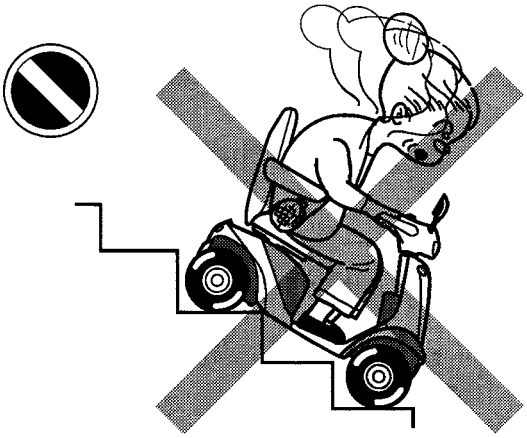
●坂道でクラッチ操作は避けてください。

クラッチ操作は、平坦ですべりにくい所で行なってください。



●階段やエスカレーターでの使用は避けてください。

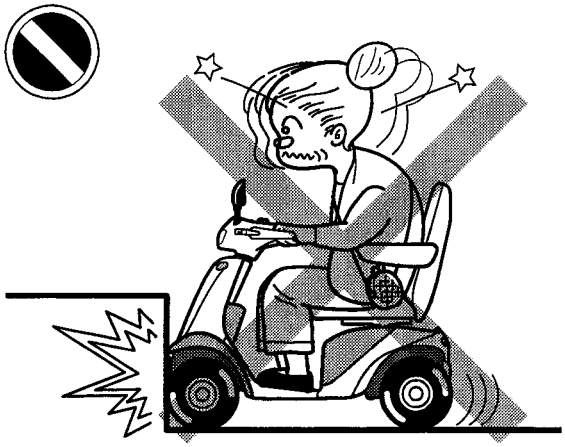
乗車したままエスカレーター（車いす用機能付きのものは除く）の使用や階段の上り下りは避けてください。転倒する恐れがあります。



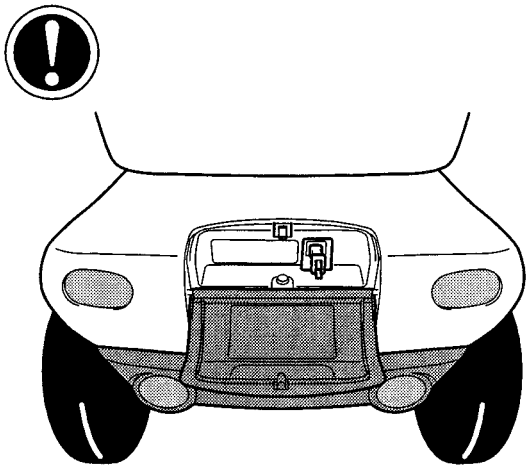
●駐車ブレーキは駐車時、およびクラッチが「手押し」状態の時に使用してください。

（26 ページ参照）

●衝突停止は危険ですから絶対にしないでください。

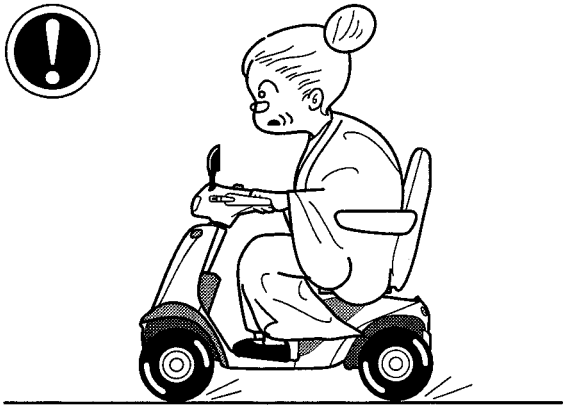


●走行時は充電コードを収納してください。



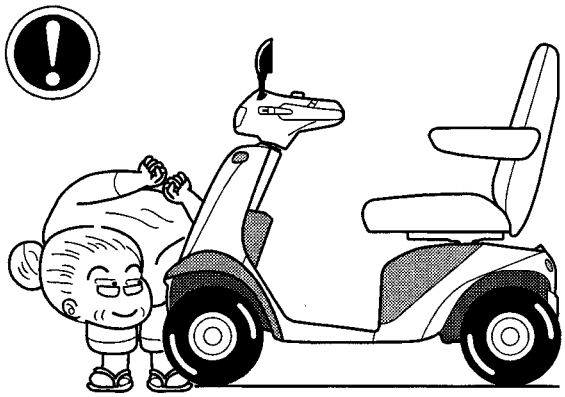
●運転に適した服装で走行してください。

運転する際は、車輪に巻き込まれたり、運転の支障となるような服装は避けてください。

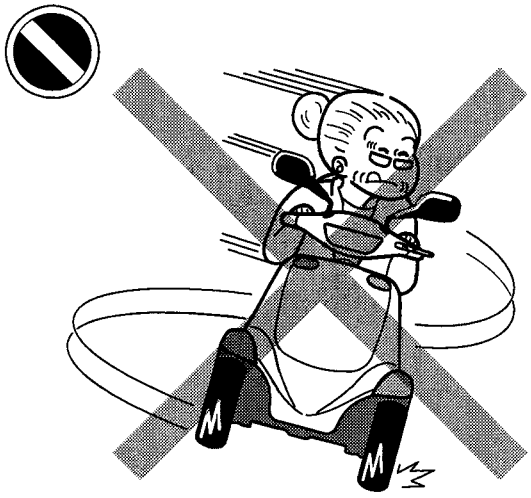


●日常点検を行なってください。

走行する前には、必ず日常点検を行なってください。（40 ページ参照）



●蛇行運転、急旋回は避けてください。

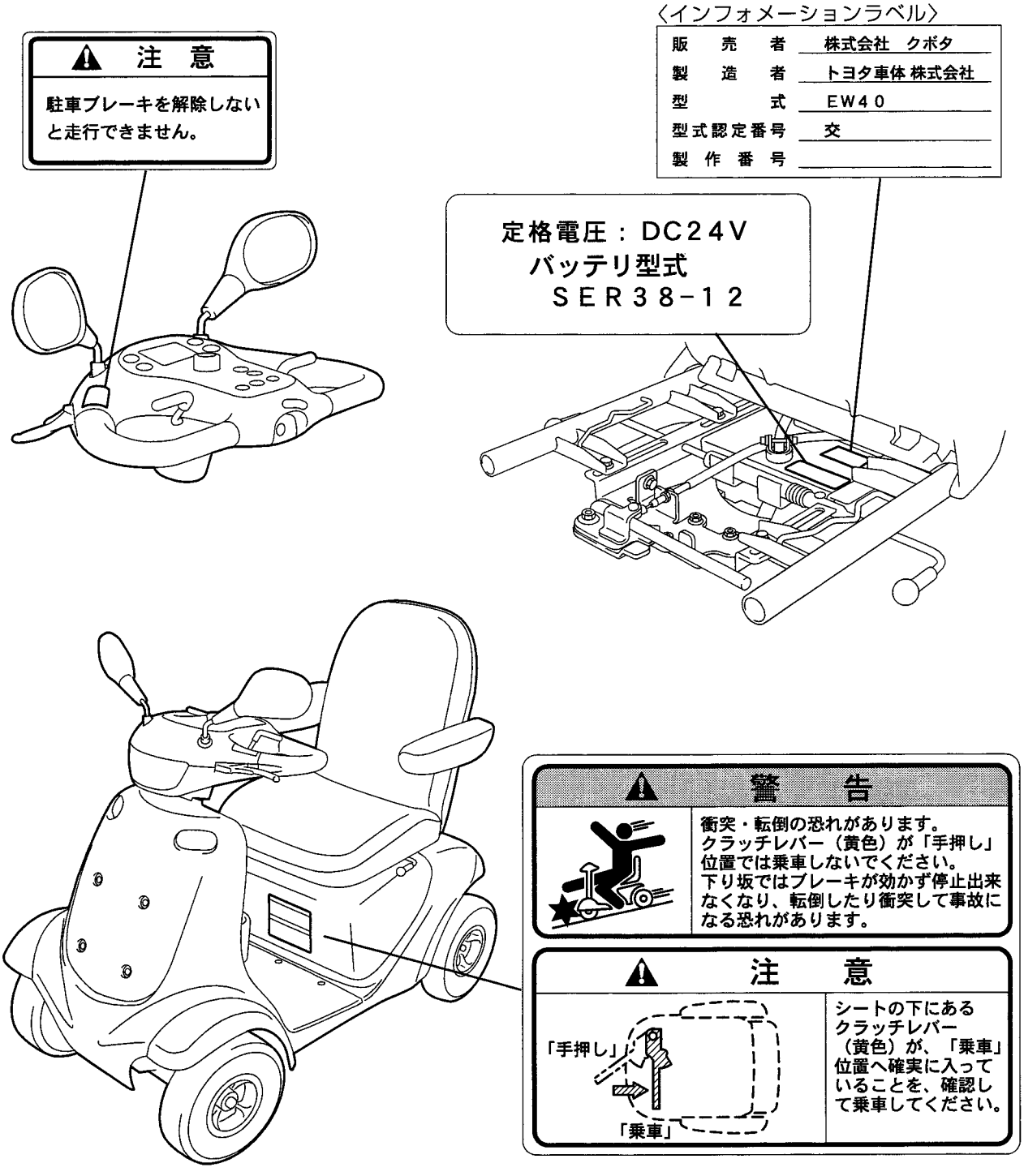


3 警告ラベルの位置

本体には、安全にご使用いただくために「警告ラベル」を貼付しています。
ご使用の前に必ずご確認いただき、内容を十分理解してご使用ください。

⚠注 意

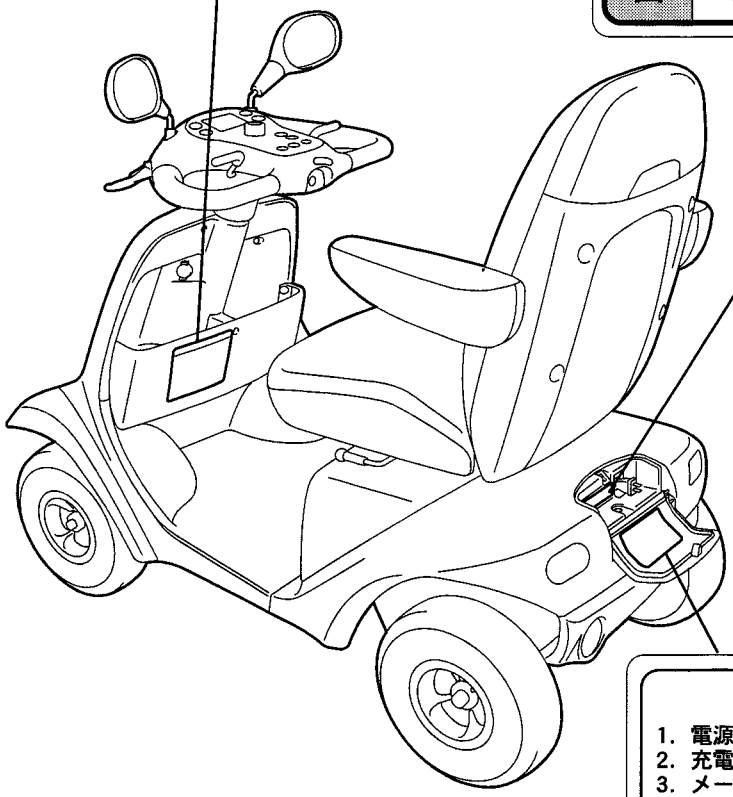
「警告ラベル」は常にハッキリ認識できるよう、汚したり、はがしたりしないでください。汚損や紛失した時は、新しいラベルを販売店から購入して貼り直してください。



⚠ 注　意

○取扱説明書をよく読んで理解し、安全運転に心がけてください。
○この電動車は道路交通法上では歩行者として扱われます。
　歩行者としての交通ルールやマナーを守ってください。
○気分のすぐれないときや、飲酒したときは運転しないでください。
○重量制限は、人、手荷物を含めて１００ｋｇです。
　重量をオーバーしないよう使用してください。
○携帯電話や無線通信機器等は安全な場所に車を止め、
　電源スイッチを「切」にしてからご使用ください。
○走行中、電磁波の影響を受けると警告ブザーが鳴り停止することが
　あります。この場合は電源スイッチを一度「切」にし、
　再度「入」にすれば走行可能となります。
○次のような状況下での運転は、衝突、転倒の恐れがありますので避けて
　ください。
・急な坂路　　・大きな段差の乗り越え　・坂道の斜め走行
・幅の広い溝の横断　・急旋回、蛇行運転　・下り坂の後進
・悪天候時の走行（雨天・濃霧・強風・降雪時など）
・悪路の走行（ぬかるみ・凸凹道・雪道・凍結路・砂地・砂利路）

⚠ 警告		
		引火爆発の恐れがあります。 バッテリーに火気を近づけないでください。
		感電の恐れがあります。 濡れた充電プラグや濡れた手で充電 しないでください。



充電の方法

1. 電源キーを抜きます。
2. 充電プラグをコンセント（100V）に差し込みます。
3. メータ内の“充電中”表示が点灯し充電が始まります。
4. メータ内の“充電完了”表示が点灯したら満充電です。
   充電プラグをコンセントから抜いてください。

○充電プラグをコンセント（100V）に差し込んだ時に
　“充電中”表示が点滅するときは、再度充電プラグを
　入れ直してください。
　“充電中”表示が点滅し続けるときは、充電を中止して
　お買い上げ店に相談してください。

4 安心・便利機能

ラクロードには安心・便利機能が付いています。よくお読みになりご理解の上、ラクロードをご使用ください。

●ステアリング減速装置

前進時3.5km／h以上で走行時、ハンドルを切ると自動的に3.5km／hまで減速し、スムーズに旋回ができます。後退時は最高速が2km／hのため減速は行ないません。

●方向指示機（ターンシグナル）切り忘れ防止機能

方向指示機を切り忘れた場合でも、30秒後に自動的にターンシグナルを消灯させます。

●自動方向指示機能

設定することにより、ハンドルを切るとその方向のターンシグナルランプが自動で点滅します。ハンドルを直進に戻すと自動で点滅を停止します。（27ページ参照）

※自動方向指示機能を設定していないときでも、ターンシグナル使用時、ハンドルを切った状態から直進に戻すと自動で点滅を停止するようになっています。

●駐車ブレーキ作動時走行不可機能

駐車ブレーキが作動している時（レバーを引いている）は、アクセルレバーを操作しても、アクセルは機能しません。

●電源スイッチ切り忘れ防止機能

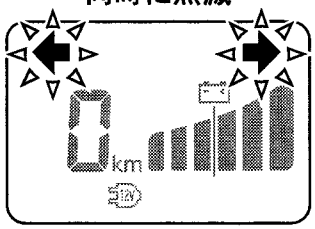
電源スイッチを「入」のままで5分以上放置する（アクセルレバーを握らない）と、警告音が鳴り自動的に電源が切れるようになっています。（17ページ参照）

5 警告機能

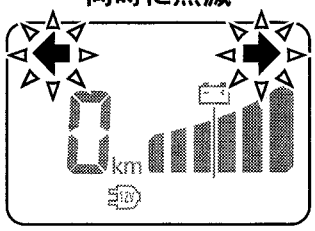
ラクロードには様々な警告機能が付いています。それぞれの警告の状態を、警告音と液晶モニターの点灯・点滅・消灯で表示していますので、よくお読みになりご理解の上、適切な対応をしてください。

■通常走行時の警告

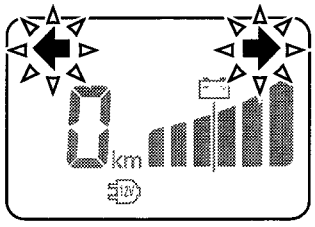
1. 後進時の警告

液晶モニターの状態	警告ブザー音	警告の内容・症状／◆処置のしかた
同時に点滅 	ピピィッピピィッ 断続音	**後進モードになっています。** ◆車両停止後、前進スイッチを押すと“ピィッ”と鳴り前進に切替わります。

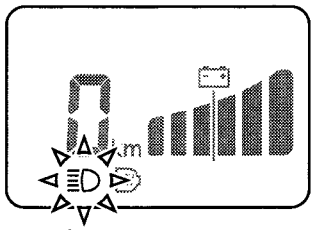
2. ハザード警告

同時に点滅 	ピィッピィッ 断続音	**ハザードが作動しています。** ◆もう一度スイッチを押すと解除します。

3. ターンシグナル警告

どちらか一方が点滅 	ピィッピィッ 断続音	**ターンシグナルが作動しています。** ◆解除方法 スイッチをもう1度押す ハンドルを切った状態から直進に戻す 30秒間放置する

4. ヘッドライト点灯警告

 点灯	なし	**ヘッドランプが点灯しています。** ◆ランプを消したい時はヘッドランプスイッチを押してください。

5. ホーン警告

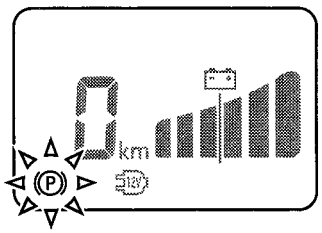
液晶モニターの状態	警告ブザー音	警告の内容・症状／◆処置のしかた
通常表示	ピィ —— 連続音	**ホーンスイッチを押している間鳴ります。** ◆ホーンスイッチから手を放せば鳴りやみます。

■安全機能作動時の警告

6. 緊急停止警告

通常表示	ピィ —— 連続音	**アクセルレバーを強い力でいっぱいまで押し下げた。** ◆アクセルレバーから手を放してください。再びアクセルレバーを握れば走行できます。

7. 駐車ブレーキ作動警告

 点灯	なし	**駐車ブレーキが効いています。** ◆走行する時は、駐車ブレーキを解除してください。

8. 電源スイッチ切り忘れ警告

通常表示 ↓ 全消灯	ピピピィッ 断続音を 15秒間	**電源スイッチを入れたまま５分間放置。断続音がなり１５秒後に電源が自動的に切れます。** **長時間の踏切・信号待ちにも起こります。** ◆電源が切れた場合は、電源スイッチの入れ直しにより復帰します。 ◆断続音が鳴っている間は、アクセルレバーを握れば警告ブザーが鳴りやみ走行できます。

9. 充電コード接続警告

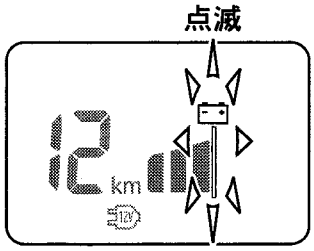
液晶モニターの状態	警告ブザー音	警告の内容・症状／◆処置のしかた
全消灯	ピィ —— 連続音	**充電中に電源スイッチを「入」にした。** ◆充電コードを抜いてください。

10. 起動時アクセル警告

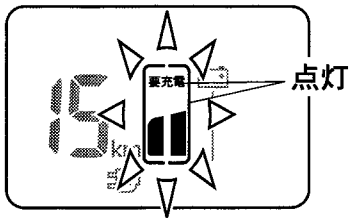
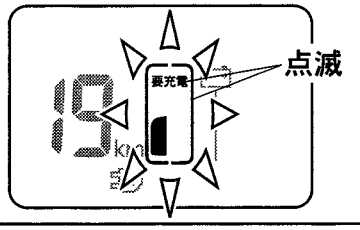
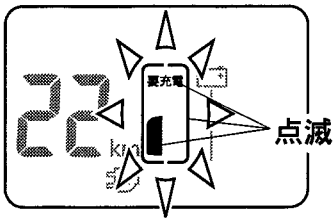
通常表示	ピィ —— 連続音	**アクセルレバーを握りながら電源スイッチを入れた。** ◆アクセルレバーから手を放し再び握り直してください。

■バッテリー残量に関する警告

11. バッテリー残量中間警告

	ピィッピィッ 断続音を 10秒間	**バッテリー残量が、およそ半分であることをお知らせします。** ◆警告は10秒間で消えます。遠出している場合は帰宅しましょう。

12. バッテリー残量警告

	なし	**バッテリー残量が、残り２メモリであることをお知らせします。** ◆遠出はせずに早めに充電しましょう。
	ピィッピィッ 断続音	**バッテリー残量が、残り１メモリであることをお知らせします。** ◆残り数kmしか走行できません。使用をひかえ充電してください。
	ピィ —— 連続音	**バッテリー残量がほとんどありません。１分後に電源が自動的に切れます。** ◆安全な場所に避難し早急に充電を行なってください。 （電源スイッチの入れ直しにより多少の走行はできますがなるべくお控えください。バッテリーの過放電は、寿命が著しく低下します。）

■車両保護の警告

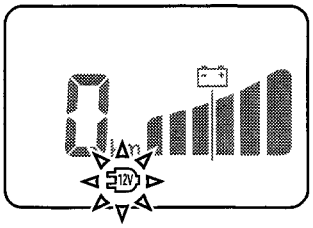
13. モーターロック警告

液晶モニターの状態	警告ブザー音	警告の内容・症状／◆処置のしかた
通常表示 ↓ 全点滅	ピピィッ 断続音	**本体が溝に落ちたりして動けない状態でアクセルレバーを押している。** ◆一旦アクセルレバーから手を放し、本体が動ける状態にしてから、走行してください。
全点滅 ↓ 全消灯	ピィ —— 連続音	**上記の状態でアクセルレバーを押し続けると、約１分後に連続音に変わりモーターが停止します。** ◆電源を切り、本体が動ける状態にしてから電源を入れ直してください。

14. 急坂・過熱警告

通常表示 ↓ 全点滅	ピィッピィッ 断続音	**急な登り坂を連続走行している。もしくはラクロードの内部温度が上昇しています。** **上記の状態がしばらく続くと連続音に変わりモーターが停止します。**
全点滅 ↓ 全消灯	ピィ —— 連続音	◆坂道走行時は「低速」にして走行してください。それでも警告がでる場合は平坦路に戻ってください。 ◆安全な場所に移動し、電源スイッチを「切」にし、5分以上休止してください。

15. アクセサリー電源異常警告

 点滅	なし	**電流が１A以上流れる機器を使用していませんか？通常走行には問題ありませんが、アクセサリー電源が使用不可になっています。** ◆アクセサリー電源を復帰させるには、使用している機器をコンセントから抜き、電源スイッチの入れ直しを行なってください。多くの電力を必要とする機器は使用できません。(30ページ参照)

■故障時の警告

16. 駆動回路警告

液晶モニターの状態	警告ブザー音	警告の内容・症状／◆処置のしかた
全消灯	ピィ —— 連続音	**電源スイッチを「入」にしても警告音が鳴り走行できない。** ◆車両本体の駆動回路系異常が考えられます。電源スイッチを切りお買い上げの販売店にご相談ください。

■充電時の警告

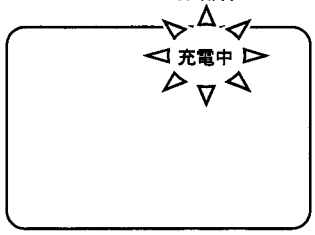
17. 充電警告１（電源スイッチ）

全消灯	ピィ —— 連続音	**電源スイッチが「入」で充電コードを差し込んだ。** ◆電源スイッチを「切」にしてキーを抜いて充電コードを入れ直してください。

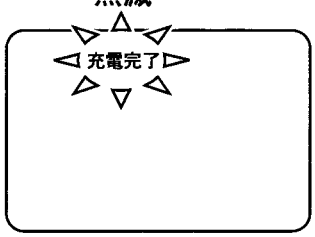
18. 充電警告２（中断）

全消灯	ピピピィッ 断続音 （10秒間）	**満充電になる前に充電コードを抜いた。** ◆そのまま走行はできますが、バッテリーの劣化を早めます。極力、満充電にしてから走行するようにしましょう。

19. 充電警告３（初期異常）

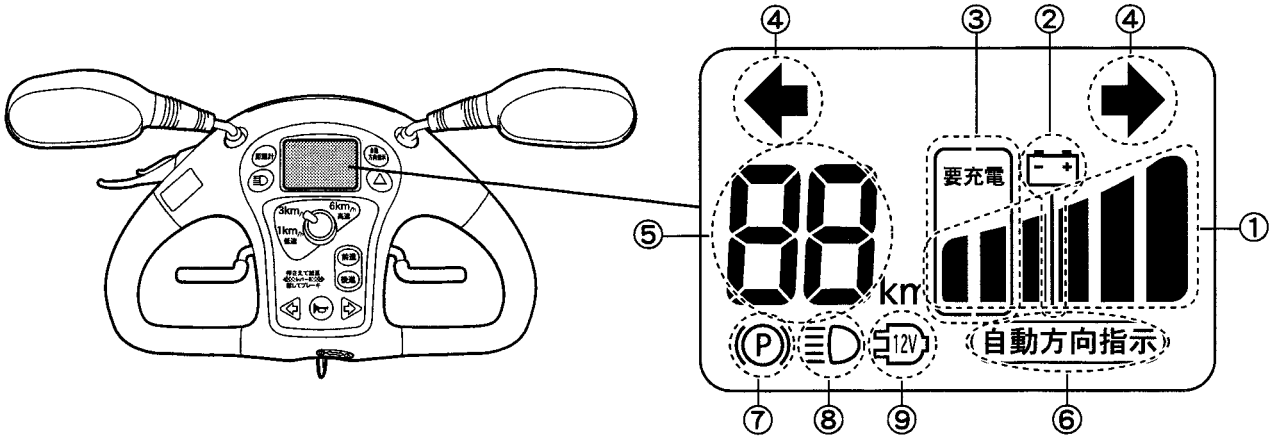
点滅 	ピィ —— 連続音を ５秒間	**充電コードを差して数秒後に警告がでます。バッテリーの劣化・逆接・電圧不足などが考えられます。** ◆充電コードの差し直しを行なってください。それでも、点滅する場合は充電コードを抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

20. 充電警告４（時間切れ）

点滅 	なし	**規定時間内に充電が終了しないため、途中で充電を終了したことを示します。** ◆たびたびなる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

6 液晶モニター（メーター）の表示内容

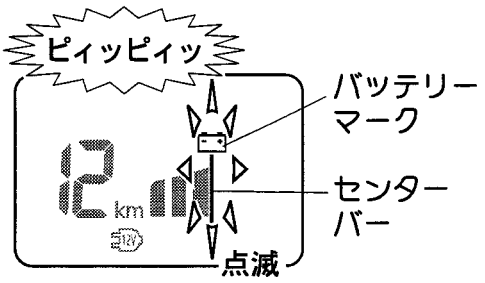
【走行時の表示】



①バッテリー残量計

●バッテリー残量を６段階で表示します。

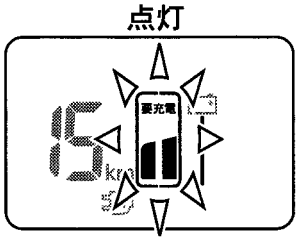
②バッテリーマーク・センターバー



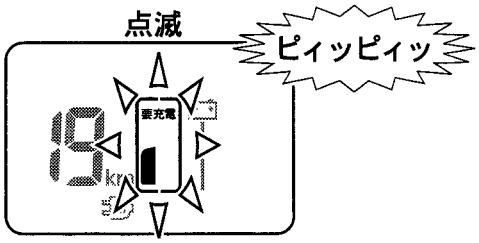
●通常走行時はバッテリーマーク、センターバーともに点灯しています。

●バッテリー残量がおよそ半分（残量メーターが残り3つになった時点）になると、“ピィッピィッ”という警告音とともに点滅し、お知らせします。（10秒間）

③要充電警告灯



1. バッテリー残量が残り２つになると点灯します。



2. バッテリー残量が残り１つになると、“ピィッピィッ”という断続音が鳴り点滅します。

3. さらにバッテリー残量がなくなると連続音に変わり、残量メーターが点滅に変わります。
1分後に電源が切れ停止しますので、安全な場所に移動し、早急に充電を行なってください。

⚠注 意

常に早めの充電を心掛けてください。

④ターンシグナル作動灯

●ターンシグナル・ハザード作動時にランプに合わせて点滅します。

⑤走行距離計

●満充電からの走行距離を表示します。

【リセット方法】

●満充電をするたびに自動的にリセットされ“0km”に戻ります。
●操作パネル内の距離リセットボタンを押すことによりリセットすることもできます。

⚠注 意

充電を途中で終了した場合は、距離計はリセットされません。

⑥自動方向指示作動灯

●自動方向指示設定時に点灯します。

⑦駐車ブレーキ作動灯

●駐車ブレーキ作動時（引いている状態）に点灯します。

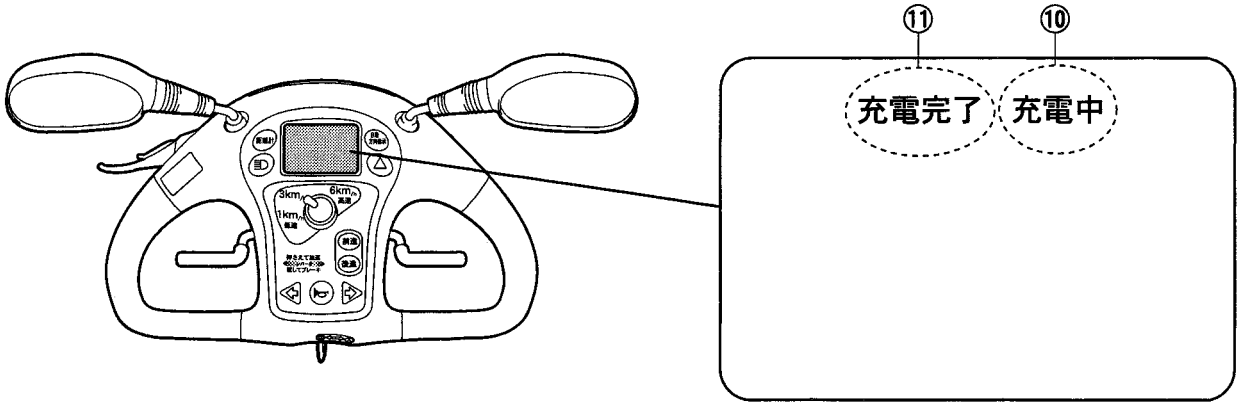
⑧ヘッドランプ作動灯

●ヘッドランプ点灯時に点灯します。

⑨アクセサリー電源異常警告灯

●通常は点灯しています。アクセサリー電源に1A以上の電流が流れると点滅し、アクセサリー電源の使用を停止します。

【充電時の表示】



⑩充電中表示灯

●充電中に点灯します。

●充電時に異常があった場合は点滅してお知らせします。

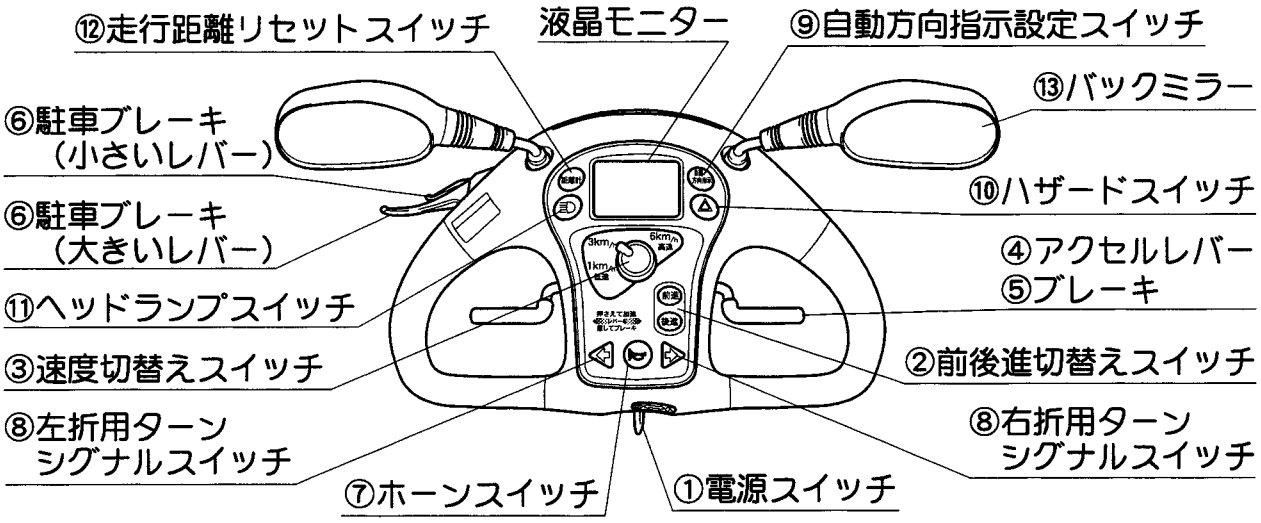
⑪充電完了表示灯

●充電が終了すると点灯します。（この時“充電中”は消灯します。）

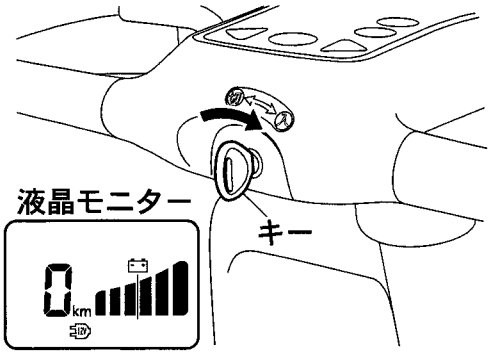
●充電が規定時間たっても終了しない場合は点滅してお知らせします。

7 取り扱い方法

【操作パネル】



①電源スイッチ

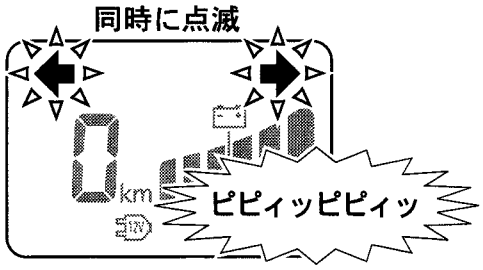


●キーを差し込み、右にまわして「入」にします。液晶モニターが点灯し、走行できます。

⚠注 意

充電する時は、必ず電源スイッチからキーを抜いてください。電源スイッチが「入」だと警告音が鳴り充電できません。

②前後進切替えスイッチ



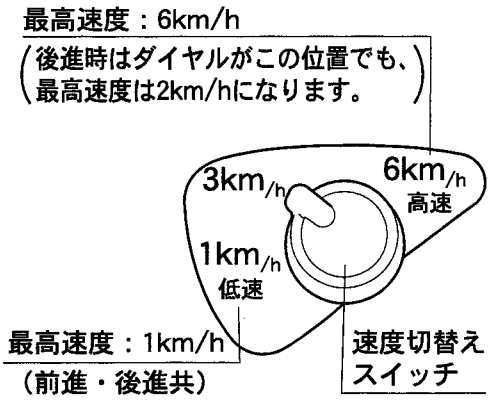
●このスイッチを押すことにより前進、後進の切替えを行ないます。

●後進時には“ピピィッピピィッ”という警告音とともに左右のターンシグナル（ハザード）が点滅します。

⚠注 意

・電源スイッチを入れた時は、常に前進になります。
・後進時は、後方の人や障害物に十分注意してください。
・スイッチを操作する時は、必ず一旦停止してから行なってください。
車両が完全に停止してからでないと、前後進は切替わりません。

③速度切替えスイッチ



●このスイッチをまわすことにより前進、後進時の最高速度が設定できます。ただし後進時の最高速度は 2km／h までしかでないようになっています。

④アクセルレバー

●押し下げると走行します。アクセルレバーの押し加減で走行速度が調整できます。

浅く押す	⇨	ゆっくり走行する
深く押す	⇨	速く走行する

⑤ブレーキ

【通常時のブレーキ】

●アクセルレバーから手を放すと、自動的に電磁ブレーキがかかり停止します。

【緊急ブレーキ（握り締め緊急停止機能）】

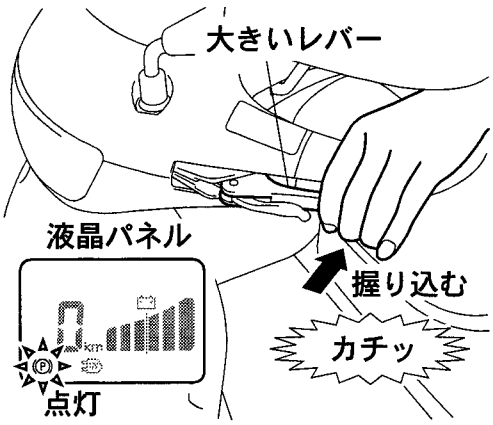
●運転者がすぐに止めたい場合は、アクセルレバーを強い力でいっぱいまで握り込んでください。緊急停止スイッチが作動し、“ピィー”という警告ブザーが鳴り停止します。

●レバーから一旦手を放すと再び走行することができます。

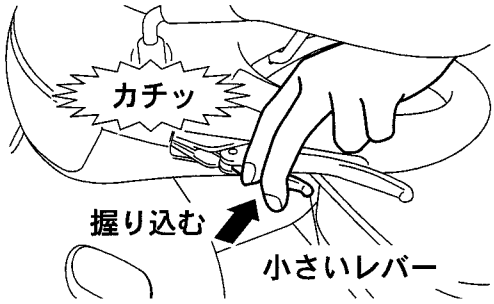
⚠注 意

急ブレーキがかかりますので緊急時以外は使用しないでください。

⑥駐車ブレーキ



●駐車する際に使用します。大きいレバーを“カチッ”となるまで引いてください。ブレーキがかかります。その際、液晶モニター内に作動灯が点灯します。



●解除する際は、小さいレバーを“カチッ”となるまで引いてください。

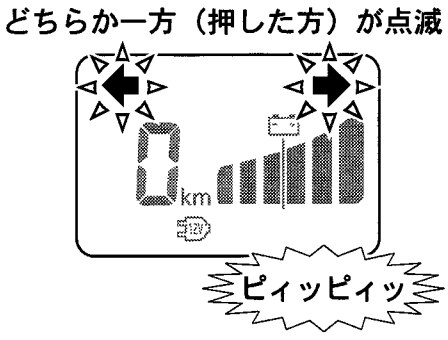
⚠注意

ブレーキ操作は平坦ですべりにくい場所で行なってください。

⑦ホーンスイッチ

●周囲に存在を知らせるときは、ホーンスイッチを押してください。押している間“ピィー”と警告音が鳴ります。

⑧ターンシグナルスイッチ



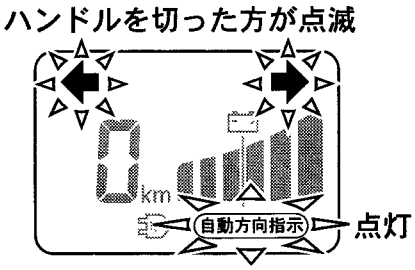
●運転者がどちらかに進みたいか、ランプを点滅させ周囲の人に伝えます。スイッチを押すと、“ピィッピィッ”という警告音とともにターンシグナルランプが点滅します。その際、液晶モニター内の作動灯も点滅します。

●ハンドルを切った状態から直進に戻すと自動で解除し、消灯させます。

●もう１度スイッチを押すことにより解除することもできます。

●消し忘れた場合でも、30秒後に自動的に解除（消灯）する機能が付いています。

⑨自動方向指示設定スイッチ



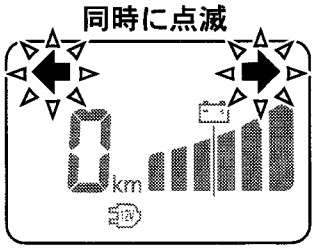
●このスイッチを押すことにより、ターンシグナルランプの点滅を自動で行なうように設定できます。ハンドルを切ると、その方向のランプを自動で点滅させます。その後、ハンドルを直進の位置まで戻すと自動で消灯します。

●設定を解除する時は、もう１度スイッチを押してください。液晶モニター内の作動灯が消灯し設定が解除されます。

チェックポイント

自動方向指示は、ハンドルを切った後にターンシグナルが作動する仕組みになっています。あらかじめ周囲に曲がることを伝えたい時は、ターンシグナルスイッチを押してください。

⑩ハザードスイッチ

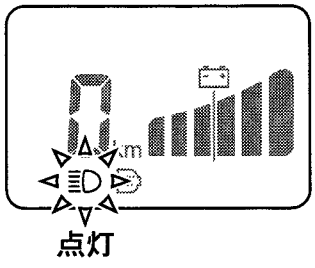


●このスイッチを押すことにより、左右のターンシグナルランプを同時に点滅させます。非常時などにお使いください。

チェックポイント

・乗用車とは違い、電源スイッチが OFF 時には、ハザードは作動しません。
・ハザード使用時でも５分間以上車両を放置すると電源スイッチ切り忘れ警告が鳴りハザードも切れます。

⑪ヘッドランプスイッチ



●電源スイッチを入れた時は、常にヘッドランプは消灯しています。

●ヘッドランプスイッチを押すことにより、点灯させます。その際、液晶モニター内に作動灯を表示します。

●消灯させるには再びスイッチを押してください。

●ヘッドランプスイッチが点灯している間は、同時に全部のターンシグナルランプも点灯します。

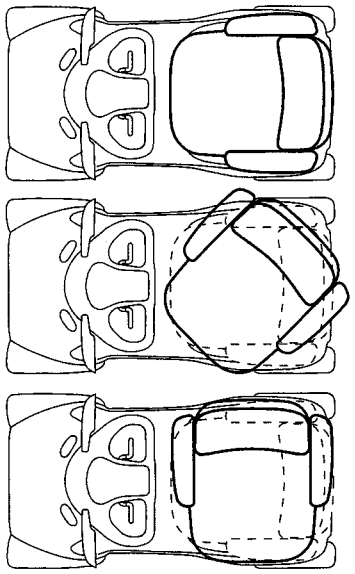
⑫走行距離リセットスイッチ

●液晶モニター内に表示している走行距離計を“0km”に戻します。

⑬バックミラー

●後方確認に使用します。シートに深く腰掛け、後方が確認できる角度に調整してください。

【シート】



①シートの回転操作

●乗り降りがしやすいように、シートを回転することができます。

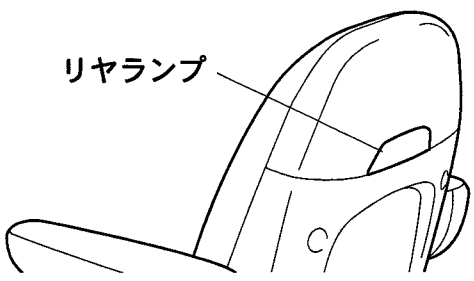
●シートレバーを引き上げるとストッパが外れ、左右に90°まで回転することができます。※45°と90°でロックすることができます。

②アームレストは左右とも上下に動かすことができます。

⚠注 意

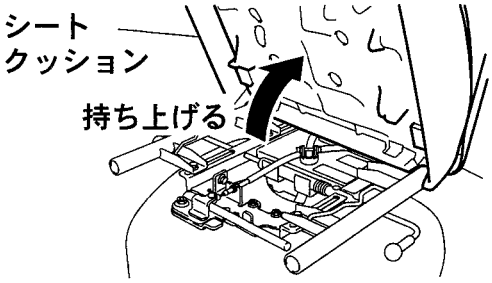
・シートの回転操作は、車両が完全に停止した状態で行なってください。
・45°と90°でシートがロックされますので、シートがロックした状態で乗り降りを行なってください。
・走行する時はシートを中央位置にし、確実に固定されていることを確認してください。

【リヤランプ】



●シートの背面に取り付けられています。電源スイッチを入れている間は常時点灯し、電源スイッチを切ると消灯します。

【クラッチレバー】

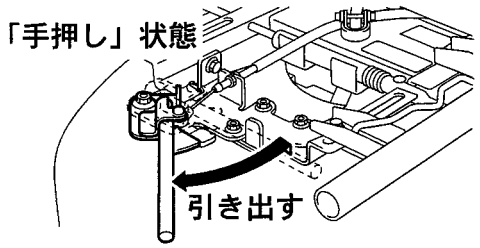


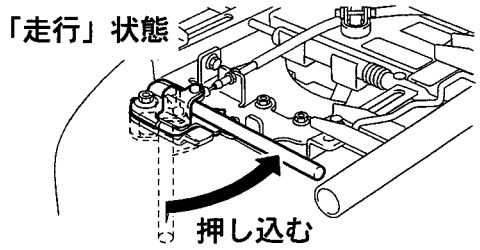
●シート下にあるクラッチレバーを操作することにより、クラッチを「走行」状態と「手押し」状態に切替えることができます。

《操作手順》

1. 駐車ブレーキを引きます。(26ページ参照)
2. シートクッションを持ち上げます。
3. クラッチレバーを手前に引き出し「手押し」状態にします。
4. 手押しで動かす時は、駐車ブレーキを解除します。

※走行状態にする時は逆の手順で行ないます。





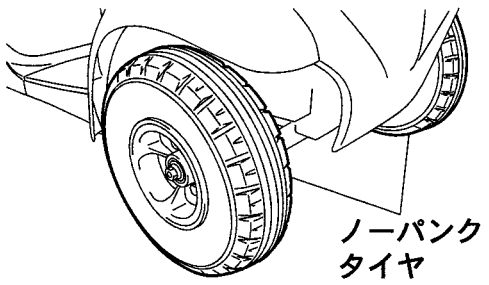
⚠警告

・クラッチレバーの切替えは、安全のため必ず平坦ですべりにくい場所で行なってください。
・衝突・転倒の恐れがあります。クラッチレバーを「手押し」状態で乗車走行しないでください。下り坂では電磁ブレーキが効かず、停止できなくなり事故につながる恐れがあります。

⚠注意

走行する時は、シートクッションを前方から後方に押し込み確実に装着してください。

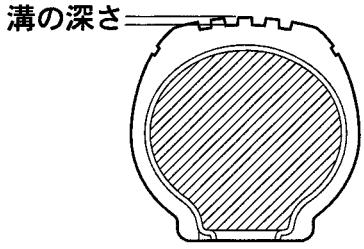
【タイヤ】



●エアのメンテナンスが不用なノーパンクタイヤを使用しています。交換時は販売店にご相談ください。

☞チェックポイント

走行前には、以下の点検を必ず行なってください。
・タイヤにキズがないか？
・タイヤの溝の深さは充分か？



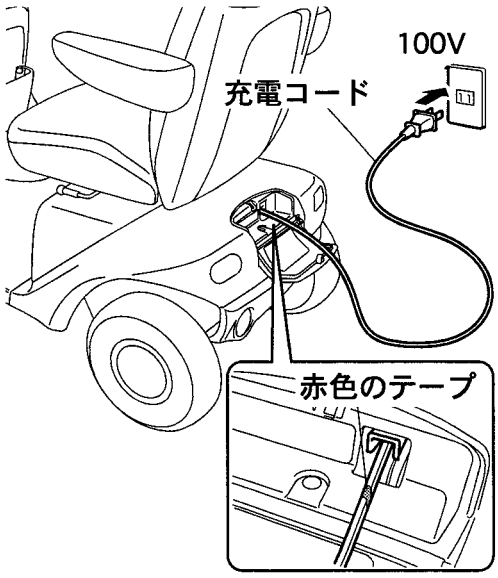
●タイヤの溝の深さ

前・後輪	下限値　0.5mm

⚠注意

タイヤの溝が0.5mm以下になると、走行中のスリップ事故発生などの恐れがありますので交換してください。

【充電コード】



●充電時に使用します。コードを引き出し100Vコンセントにつなぎます。

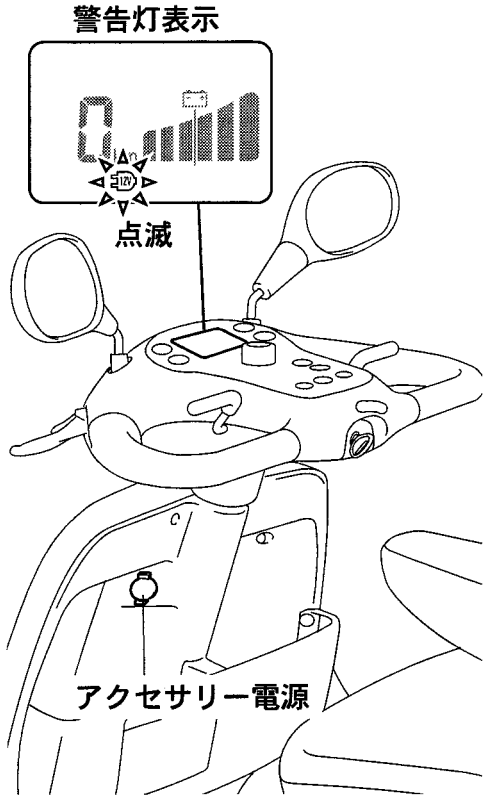
チェックポイント

充電コードの末端には赤色のテープが巻いてありますので、それ以上引き出さないでください。無理に引き出すと充電コードが断線する恐れがあります。

⚠注 意

走行時は、充電コードを確実に収納してください。収納せず走行すると車輪に巻き込む恐れがあります。

【アクセサリー電源】



●電源スイッチが「入」の時に使用できる外部電源です。定格12Vで、1Aまでの機器が使用できます。主に携帯電話の充電などにご使用ください。

●1A以上を必要とする機器を接続すると、警告灯が点滅しアクセサリー電源の供給を停止します。この場合、通常走行はできますが、アクセサリー電源の供給は、電源スイッチの入れ直しを行なわないと復帰しません。

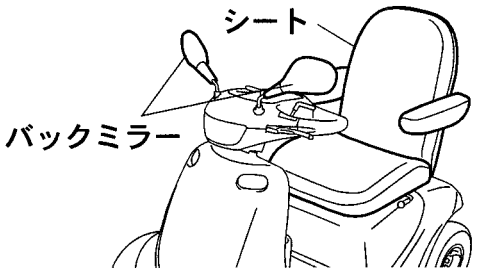
⚠注 意

・12V仕様以外の機器は絶対に接続しないでください。
・アクセサリー電源を使用すると、使用しない時に比べ1充電走行距離が低下しますのでご承知おきください。
・アクセサリー電源を使用しない時は、必ずキャップをしてください。

8 運転のしかた

【乗車する前に】

1. 走行の障害になる物が車両周辺にないことを確認してください。
2. シートが正しく装着されているか、ガタつきがないか、確認してください。
3. バックミラーはシートに深く腰をかけた状態で、後方が確認できる位置に調整してください。

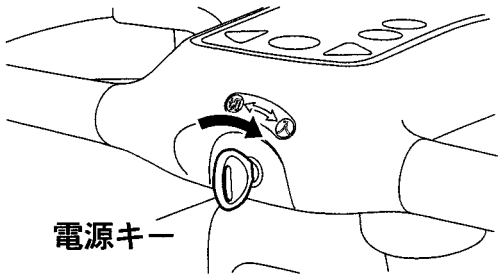


⚠注 意

乗降時にはハンドルに過度な力を加えるようなことはしないでください。
そして、必ず平坦な場所で乗降してください。

【走行する】

1. シートに深く腰をかけて、電源キーを差し込み「入」の位置まで回します。



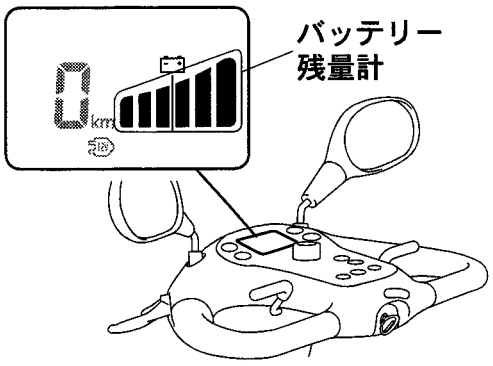
☞チェックポイント

液晶モニターが点灯したことを確認してください。

⚠注 意

走行する時は確実にシートに腰掛けてください。

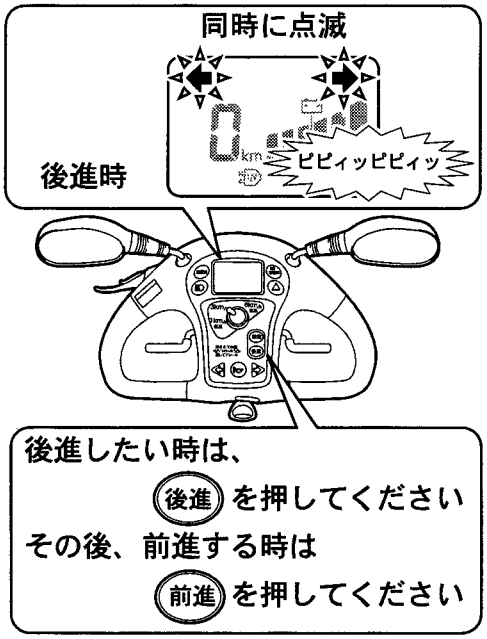
2. バッテリー残量計をみて、バッテリーの残量を確認してください。



☞チェックポイント

バッテリー残量が十分にない場合は、必ず充電を行なってください。
（35ページ「充電のしかた」を参照）

3. 電源スイッチを入れた時は常に前進になっています。

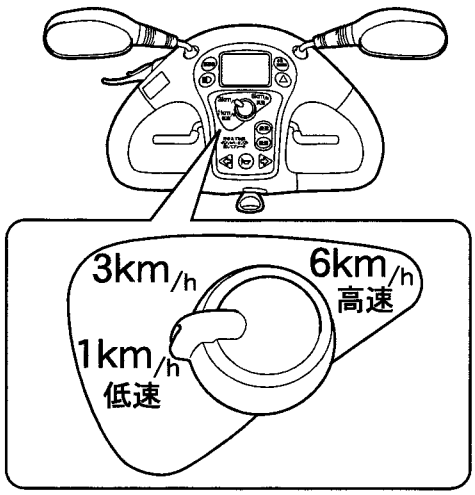


（後進時は“ピピィッピピィッ”と断続して警告音が鳴るとともに、左右のターンシグナルランプが点滅します。）

チェックポイント

車両を完全に停止させてから前進・後進の切替えを行なってください。完全に車両が停止してからでないと前進・後進は切替わらないようになっています。

4. 速度切替えスイッチを「低速」位置にしてください。



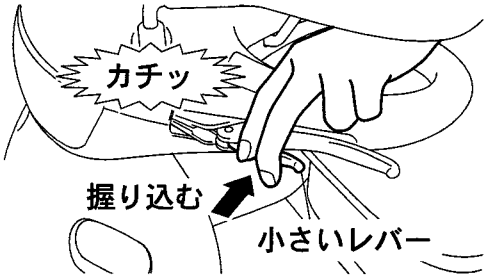
チェックポイント

運転になれるまでは「低速」の位置での運転をおすすめします。

⚠注意

坂道は「低速」の位置にして、前進走行で上り下りしてください。「高速」で急な坂を上ると、パワーが不足し、警告がでることがあります。

5. 駐車ブレーキを解除してください。



チェックポイント

駐車ブレーキを引いた状態では走行できません。
（26ページ参照）

6. アクセルレバーを、ゆっくり押し下げてください。アクセルレバーの押し込み加減により速度調整ができます。

チェックポイント

- コーナーを安全に走行できるようにハンドルを大きくきると、自動的に速度を3.5km／hに減速します。
- 後進時の最高速度は2km／hまでしかでないようになっています。（25ページ参照）

⚠注意

衣服等を車輪に巻き込まれないように注意してください。

停止する

●アクセルレバーから手を放してください。
自動的に電磁ブレーキがかかり、停止します。

⚠注意

停止距離は走行条件によって変わるので、停止操作は余裕をもって行なってください。

緊急停止する

●アクセルレバーを強い力でいっぱいまで押し込んでください。
●緊急停止スイッチが作動し、“ピィー”という警告音が鳴り停止します。

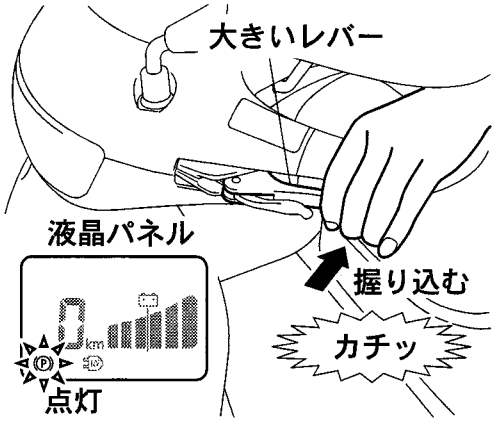
チェックポイント

再度、走行する時は、一旦アクセルレバーから手を放してください。警告音が消えたら走行できます。

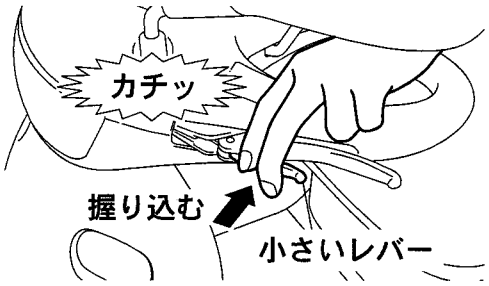
⚠注意

運転姿勢が乱れる恐れがありますので緊急時のみに使用し、常用は避けてください。

駐車ブレーキを操作する時



●駐車する時、大きいレバーを“カチッ”っとなるまで引いてください。ブレーキがかかります。

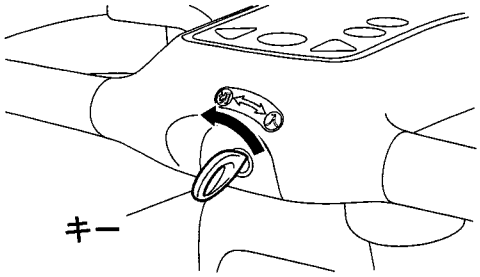


●解除する際は小さいレバーを“カチッ”となるまで引いてください。

⚠注 意

このブレーキは補助的な役割で、減速や停止するためのブレーキではありません。

降車する



●ラクロードが完全に停止した状態で、電源スイッチを「切」にして、キーを抜いてから降車してください。

9 充電のしかた

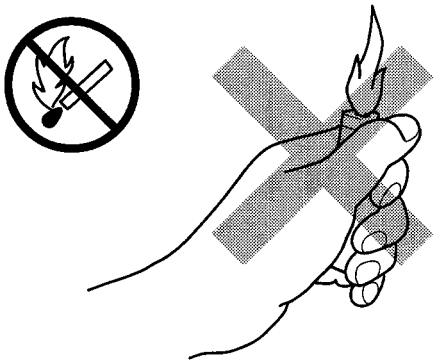
【充電の手順】

☞チェックポイント

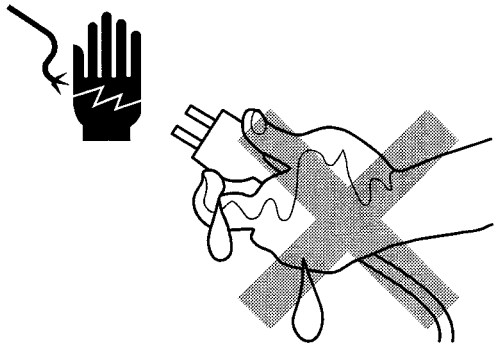
バッテリーの使いすぎ、またバッテリーが空（満充電でない）状態で放置するとバッテリーの寿命が著しく低下します。

⚠警告

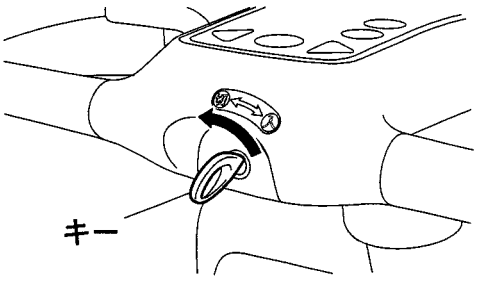
●引火爆発の恐れがあります。充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。



●感電の恐れがあります。濡れた充電コードプラグや濡れた手で充電しないでください。



1. ラクロードの電源スイッチを「切」にし、キーを抜いてください。



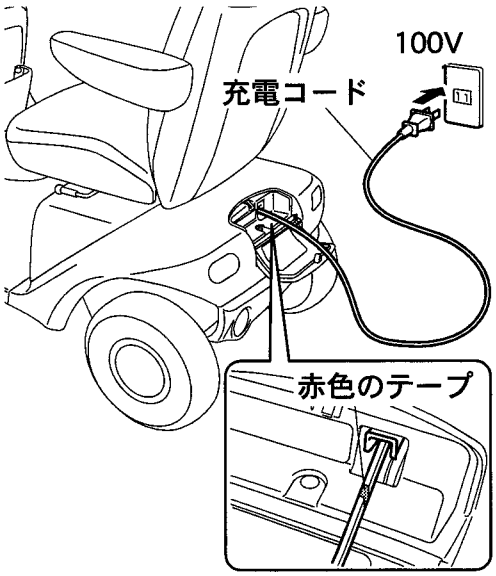
☞チェックポイント

電源スイッチが「入」の状態で充電コードプラグをコンセントに差し込んだ場合は、電源スイッチを「切」にしてから充電コードプラグを差し直してください。

⚠注意

異常充電による事故を防ぐため、本体充電器以外の充電器でのバッテリー充電は絶対にしないでください。

2.充電コードを引き出し、家庭用100Vコンセントへ確実に奥まで差し込んでください。



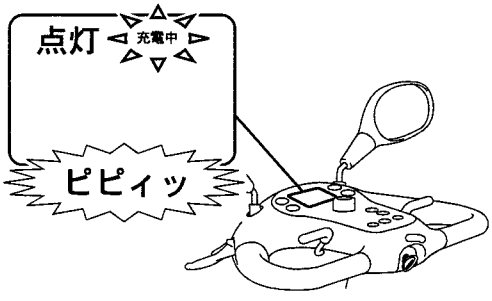
チェックポイント

- 充電には100V・最大5Aの電流が必要になります。あらかじめ電源の容量を確認し、充分な電源から充電してください。
- 夏場の走行直後の充電は、避けてください。保護機能が働き充分な充電ができないことがあります。
- 充電コードに赤いテープが巻いてありますので、それ以上は引き出さないでください。それ以上引き出すと、コードが断線し充電できなくなる恐れがあります。
- 充電コードプラグを差し込んだ時に、警告音が鳴り「充電中」が点滅する時は、エラーのため正常に充電されません。14ページを参照したうえで販売店にご相談ください。

⚠注意

- 充電は雨霧、直射日光のあたらない風通しのよい場所で行なってください。
- 落雷の危険がある時は、充電コードを抜いてください。
- 充電はたこ足、長いコードで行なわないでください。
- 100Vコンセント以外の電源には、充電コードプラグを差し込まないでください。

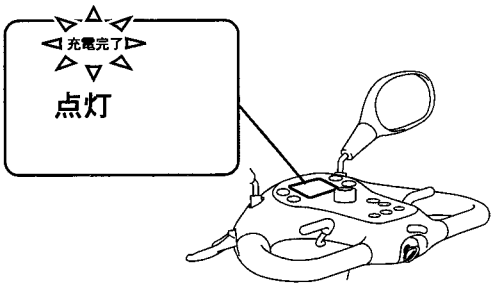
3.液晶モニター内に「充電中」が点灯し、"ピピィッ"という音が鳴り充電を開始します。



チェックポイント

「充電中」が点灯しない場合は、販売店にご相談ください。

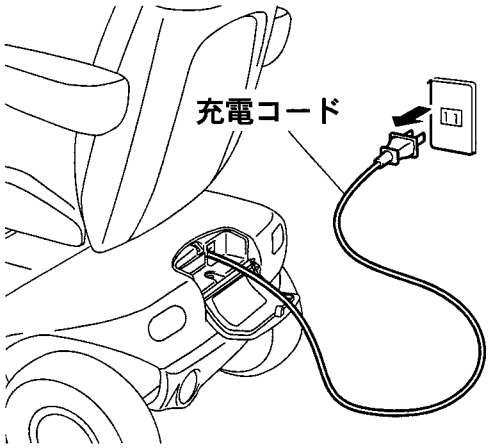
4. 液晶モニター内に「充電完了」が点灯したら充電完了です。



チェックポイント

「充電中」、「充電完了」が点滅している場合は正常に充電が終了していません。14ページを参照したうえで販売店にご相談ください。

5. 充電コードプラグをコンセントから抜き、コードの汚れをよく拭きとってから収納してください。

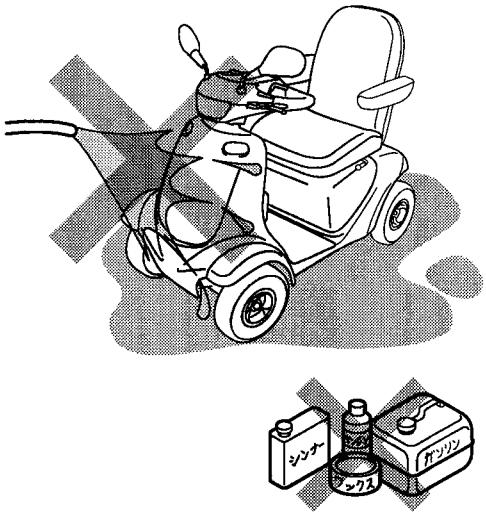


⚠注 意

- 充電の途中で、コードプラグをコンセントから抜くと“ピピピィッ”と10秒間警告音が鳴ります。異常時の警告ではありませんが、バッテリーを長持ちさせるためにも、「充電完了」が点灯するまで充電を行なってください。
- 充電コードの引き抜きは、プラグ部を持って行なってください。

10 保守のしかた

【本体の手入れのしかた】



●本体の汚れは、水気を絞った柔らかい布で拭き取ってください。

●汚れが落ちにくいときは、中性洗剤を布にしみ込ませて拭き取り、その後、水気を絞った柔らかい布で拭き取ってください。

チェックポイント

故障や変形などの原因になりますので、以下のことはしないでください。

・ホースなどによる直接の水かけ洗い。
・ガソリン・シンナー・ベンジン・ワックスなどの各種油脂製品の使用。

⚠注 意

・本体を手入れする場合は、電源スイッチからキーを抜き、電源コードプラグをコンセントから抜いた状態で行なってください。
・部品を交換する時は必ず販売店へ相談し、純正部品を使用してください。

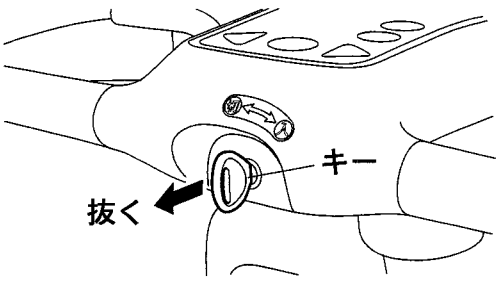
【保管のしかた】

ラクロードをいつまでも安全・快適にご使用いただくために、下記の状態にして保管してください。

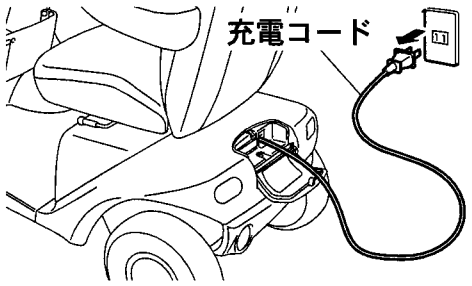
☞チェックポイント

直射日光や雨・夜露などを直接うけないように保管してください。

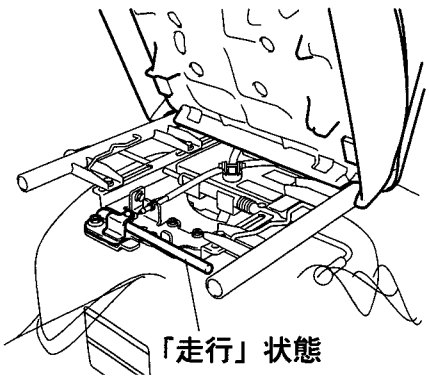
《日常の保管》



●電源スイッチを必ず「切」にし、キーを抜いてください。



●充電コードはコンセントから抜き、収納してください。



●クラッチレバーを「走行」状態にしてください。（電磁ブレーキがかかった状態になります。）

《長期の保管》

●必ず満充電にしてから保管してください。

●バッテリーは使用しなくても自己放電しますので、月に一度は補充電を行なってください。

●タイヤの変形防止のため、月に一度は車両を動かし、タイヤの接地面を変えてください。

11 点検要領

《日常点検》

☞チェックポイント

ご使用前には、必ず以下の事項について点検してください。「おかしいな？」と思われたら、すぐにお買い上げの販売店にご相談ください。

点検項目		点検内容
ハンドル	ハンドル	●ゆるみ・ガタはありませんか？ ●左右へスムーズに旋回しますか？
	駐車ブレーキ	●ブレーキは効きますか？ ●レバーの遊びは適切ですか？
スイッチ類	バッテリー残量計	●バッテリー残量計の表示が現れますか？ （バッテリーの残量は充分ですか？）
	ホーン	●ホーンは鳴りますか？
	アクセルレバー	●押し下げると走行し、手放すと停止しますか？
	前進スイッチ	●正常に作動しますか？
	後進スイッチ	●正常に作動しますか？
	速度切替えスイッチ	●正常に作動しますか？
	緊急ブレーキ	●正常に作動しますか？
	ヘッドランプ	●ランプに損傷がなく、点灯しますか？
	ターンシグナルランプ	●ランプに損傷がなく、点灯しますか？
	リヤランプ	●ランプに損傷がなく、点灯しますか？
駆動系	モーター	●モーターの回転音に異常はありませんか？
	クラッチレバー	●正常に作動しますか？
	タイヤ	●タイヤに亀裂・損傷はありませんか？ ●タイヤの溝の深さは適切ですか？ ●金属片・石などの異物が刺さっていたり、巻き込んでいませんか？
その他	シート	●シートレバーは正常に作動、ロックしますか？
	リフレクタ（反射板）	●損傷はありませんか？
	バックミラー	●損傷（割れ・変形）はありませんか？
	その他	●走行中、異常な音はしませんか？
		●オイルのにじみ（漏れ）等はありませんか？

《定期点検》

ラクロードを安全に、そしてより快適にご使用いただくために、購入後1ヶ月、それ以降6ヶ月毎にラクロード販売店で定期点検をうけてください。
なお、この定期点検はお客様の有料となります。

点検項目		点検内容
制動装置	電磁ブレーキ	●平坦路で1m以内で止まりますか？ ●下り坂では、1.5m以内で止まりますか？ （10°以下の坂で試してください）
	緊急ブレーキスイッチ	●緊急ブレーキスイッチは作動しますか？
	駐車ブレーキ	●駐車ブレーキは作動しますか？
操舵装置	ハンドル	●スムーズに動きますか？ ●ハンドルに大きなガタはないですか？ ●前輪タイヤ取り付け部のゆるみやガタがないですか？
電源装置	バッテリー残量計	●満充電後に全部のメモリが点滅しますか？
	電源スイッチ	●電源の入・切は正常におこなえますか？ ●液晶モニターが表示されますか？ ●リヤランプが点灯しますか？
	前後進切替えスイッチ	●前進しますか？　後進しますか？ ●後進時、警告音とハザード点滅をしますか？
	速度切替えスイッチ	●速度は変化しますか？
	アクセルレバー	●押し加減により速度調整ができますか？
	ヘッドランプスイッチ	●ランプは点灯しますか？
	ターンシグナルスイッチ	●ランプの点滅、ブザー（断続音）は鳴りますか？
	ハザードスイッチ	●ランプの点滅、ブザー（断続音）は鳴りますか？
	ホーンスイッチ	●ホーンは鳴りますか？
	自動方向指示設定スイッチ	●自動方向指示設定に切替わりますか？（ハンドルを切り確認）
充電装置	充電器	●充電器は正常に作動しますか？（充電中が点灯することを確認）
	バッテリー	●ターミナルのゆるみや、損傷はないですか？ ●バッテリーの損傷、変形などはないですか？
駆動装置	モーター	●発進・停止はスムーズですか？ ●異音はないですか？
	クラッチ	●クラッチレバーを「手押し」状態にすると手押しができ、「走行」状態にするとクラッチが入りますか？
走行装置	タイヤ	●磨耗や損傷はないですか？ ●釘・石等、異物が刺さっていないですか？
	タイヤ取り付け部	●ゆるみやガタはないですか？ ●アライメントの大きなくるいはありませんか？
配　線		●コネクター接続部のゆるみ、損傷はないですか？ ●コードの損傷はないですか？
その他		●車体の損傷はないですか？ ●車体やシートにゆるみや、ガタはないですか？ ●ボルト・ナットのゆるみはないですか？ ●バッテリーの交換等で手を加えた場合は、その部分の固定状態を点検してください。

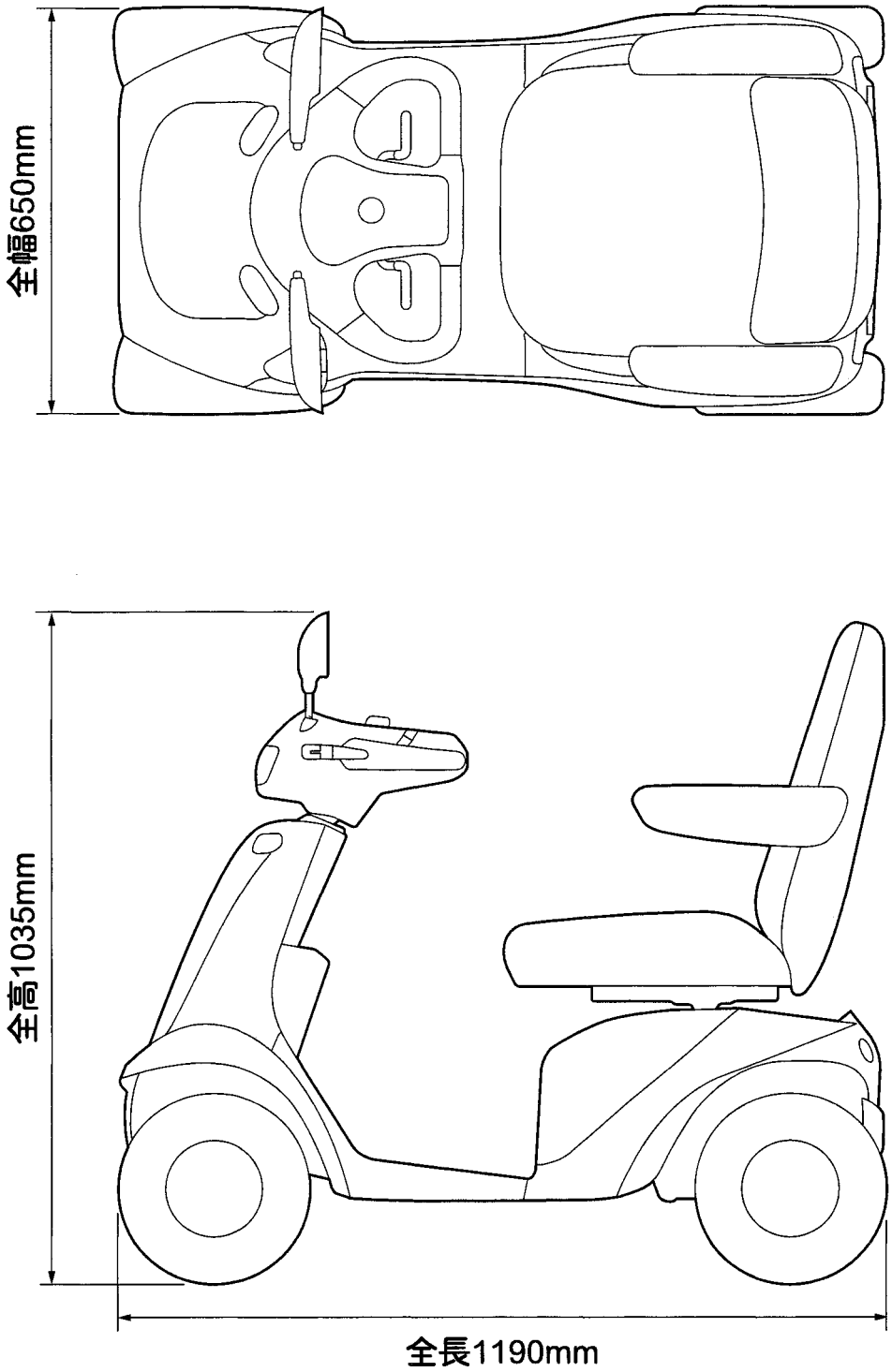
《定期点検記録簿》

（販売店の方へ）

定期点検記録を、下表にご記入ください。定期点検（有料）

点検項目		1回目 購入1ヶ月	2回目 6ヶ月	3回目 1年	4回目 1年6ヶ月	5回目 2年
制動装置	電磁ブレーキ					
	緊急ブレーキスイッチ					
	駐車ブレーキ					
操舵装置	ハンドル					
電源装置	バッテリー残量計					
	電源スイッチ					
	前後進切替えスイッチ					
	速度切替えスイッチ					
	アクセルレバー					
	ヘッドランプスイッチ					
	ターンシグナルスイッチ					
	ハザードスイッチ					
	ホーンスイッチ					
	自動方向指示設定スイッチ					
充電装置	充電器					
	バッテリー					
駆動装置	モーター					
	クラッチ					
走行装置	タイヤ					
	タイヤ取り付け部					
配　線						
その他						
点検実施店名						
点検実施日		年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日	年　月　日

《外観図》



《主要諸元》

項　目		ラクロード(EW40)
寸法(全長×全幅×全高)		1190×650×1035mm
シート(幅×奥行き×バックレスト高さ)		回転式・アームレスト付き　466×444×540mm
重量	バッテリー含む	105kg
	バッテリー除く	77kg
タイヤ(前・後輪)		3.50−5　4PR (直径300mm・幅90mm) パンクレスタイヤ
バッテリー(5時間率)		12V×32Ah×2個(シール式)
モーター(30分定格出力)		DC24V　400W×1個(ブラシレスモーター)
駆動方式		後2輪直接駆動方式(デファレンシャル付)
制動方式		電磁ブレーキ・モーター発電ブレーキ・内拡式手動ブレーキ
操舵方式		ハンドルによる前輪操舵
制御方式		アクセルレバーによる無段階制御方式
充電装置	制御方式	DC24V　9.5Aマイコン制御自動充電器
	交流入力電源	100V、5A
速度	前進	1〜6km／h　無段階スピード調整
	後進	1〜2km／h　無段階スピード調整
実用登坂角度		10°
溝乗越え高さ		150mm
段差乗越え高さ		100mm
最小回転半径		1,465mm
連続走行距離		23km
使用者最大体重		100kg(搭乗者・手荷物を含む)

13 故障かな？と思ったときは

故障かな?と思われましたら、下記によりお確かめください。
それでも正常に戻らない場合は、使用をやめて、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

おかしな症状	考えられる原因	処理の仕方
電源スイッチを「入」にしても、メーターランプが点灯しない	バッテリー残量がなくなった。	販売店へ相談し点検を受けてください。
	バッテリーのコネクタ（結線接続）が外れている。	「カチッ」となるまで確実に差し込んでください。
	充電コードプラグをコンセントに差し込んでいる。	充電コードプラグを抜いてください。
	充電直後に電源スイッチを「入」にした。	キーを一旦抜き、しばらく経ってから再度「入」にしてください。
アクセルを押しても発進しない	駐車ブレーキを引いている。	駐車ブレーキを解除してください。
	クラッチレバーが「手押し」側になっている。	クラッチレバーを「走行」側にしてください。
	アクセルレバーを下端まで押し込んでいる。	一旦アクセルレバーから手を放してください。
前進・後進が切替わらない	車両が停止する前に切替えスイッチを押している。	車両が完全に停止してから切替えを行なってください。
車両停車中に突然警告音が鳴り電源が切れた	電源スイッチが「入」のままアクセル操作をせずに５分以上放置した。	電源スイッチの入れ直しにより復帰します。警告音が鳴っている間（15秒間）は、アクセルレバーを握れば復帰します。
電源スイッチを「入」にすると警告音が鳴る	アクセルレバーを握りながら電源スイッチを「入」にした。	一旦アクセルレバーから手を放してください。再び握れば走行できます。
走行中に停止する	バッテリー残量が不足している。（要充電警告灯点滅）	電源スイッチを「切」にし、直ちに充電を行なってください。
	アクセルレバーを下端まで押し込んでいる。	一旦アクセルレバーから手を放してください。
	急な登り坂で連続走行した。	ゆるやかな坂道又は平坦路に戻ってください。
	タイヤが溝にはまったり、乗り越えられない段差を走行しようとした。	一旦アクセルレバーから手を放し、本体が動ける状態にしてから、走行してください。
充電できない	電源スイッチが「入」になっている。	電源スイッチを「切」にし、キーを抜いてください。
	充電中に停電など電源に異常があった。	充電コードを一旦抜き、５分程してから再び充電を始めてください。
	タコ足配線をしている。	
	周囲の温度が高い。（特に夏場）	電源スイッチからキーを抜き、涼しい場所でしばらく休止した後、再度充電してください。
	走行直後に充電した。（特に夏場）	
	電源が入らないほどバッテリー電圧が低下した。	バッテリー交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
	連続で12時間以上充電してください。	それでも満充電にならない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
満充電にしたのにバッテリー残量計の減りが早い	バッテリーが劣化している。	お買い上げの販売店へご相談ください。

memo

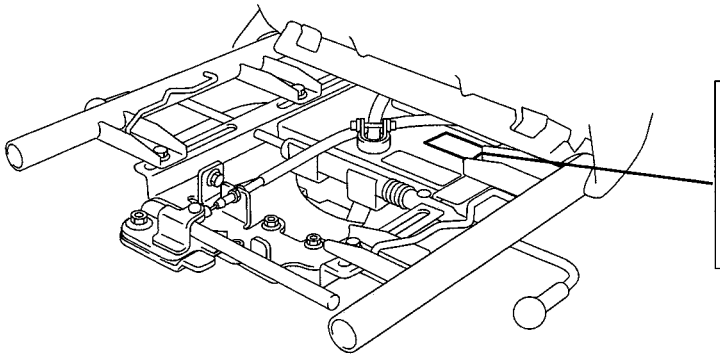
アフターサービスについて

1. 保証書

この商品には保証書を添付しています。必ず「販売店名・お渡し日（説明日）」の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの上、大切に保存してください。

2. アフターサービス

・ご使用中の故障や修理などご不明の場合は、お買上げの購入先にお問合わせください。その際、型式と製作番号をあわせてご連絡ください。
・クボタ純正部品をご使用ください。
・型式ラベルは、シートクッションを持ち上げると、下図の位置に貼付されています。



販売者	株式会社 クボタ
製造者	トヨタ車体 株式会社
型式	EW40
型式認定番号	交
製作番号	

⚠ 警告

ラクロードの改造は事故・故障の原因となりますので、しないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

3. 補修用部品の供給年限について

・この製品の補修用部品の供給年限（期間）は製造打ち切り後９年といたします。ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。
・補修部品の供給は原則的には上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合は、納期及び価格についてご相談させていただきます。

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点はまず、お買い上げの販売先へご相談ください

おぼえのため、記入されると便利です

購入先名	担当	電話
		（　　）　－
ご購入日 年　月　日	型式	車体番号

万一ご購入先でご不明の点がございましたら、下記にお問合せください。

クボタ機械サービス株式会社

北海道営業技術推進部	TEL(011)662-2121	〒063-0061 札幌市西区西町北16丁目1番1号
秋田営業技術推進部	TEL(018)845-1644	〒011-0901 秋田市寺内字大小路207-54
仙台営業技術推進部	TEL(022)384-5162	〒981-1221 名取市田高字原182番地-1
東京営業技術推進部	TEL(048)862-1588	〒338-0832 さいたま市桜区西堀5丁目2番36号
新潟営業技術推進部	TEL(025)285-1263	〒950-0992 新潟市上所上1丁目14番15号
金沢営業技術推進部	TEL(076)275-1121	〒924-0038 松任市下柏野町956-1
名古屋営業技術推進部	TEL(0586)24-5111	〒491-0031 一宮市観音町1番地-1
大阪営業技術推進部	TEL(06)6470-5860	〒661-8567 尼崎市浜1丁目1番地1号
岡山営業技術推進部	TEL(086)279-4511	〒703-8216 岡山市宍甘275番地
米子営業技術推進部	TEL(0859)33-5011	〒683-0804 米子市米原7丁目1番1号
株式会社四国クボタ 営業技術課	TEL(087)874-8500	〒769-0102 香川県綾歌郡国分寺町国分字向647-3
福岡営業技術推進部	TEL(092)606-3725	〒811-0213 福岡市東区和白丘1丁目7番3号
熊本営業技術推進部	TEL(096)357-6181	〒861-4147 熊本県下益城郡富合町大字廻江846-1
本社営業技術推進部	TEL(072)241-8092	〒590-0823 堺市石津北町64番地

株式会社クボタ

機械札幌事務所	TEL(011)662-2121	〒063-0061 札幌市西区西町北16丁目1番1号
機械東日本事務所	TEL(048)862-1121	〒338-0832 さいたま市桜区西堀5丁目2番36号
機械西日本事務所	TEL(06)6470-5970	〒661-8567 尼崎市浜1丁目1番地1号
機械福岡事務所	TEL(092)606-3161	〒811-0213 福岡市東区和白丘1丁目7番3号

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者
が一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

株式会社クボタ

本　社　大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号　TEL556-8601

製造元　トヨタ車体株式会社
愛知県刈谷市一里山町金山100番地　TEL448-8886

L8020-6111-1